

創立60周年記念誌

次世代につなげよう

スポーツの力

さわやかな汗光ります

平成27年3月

三木市体育協会

次世代につなげよう

スポーツの力

さわやかな汗光ります

三木市体育協会

三木市体育協会 60周年記念誌

目 次

三木市体育協会旗

発刊のことば

祝辞

三木市体育協会会長	五百藏征幸
三木市長	藪本 吉秀
三木市議会議長	武田 篤美
兵庫県体育協会会長	井戸 敏三
兵庫県議会議員	仲田 一彦
三木市教育長	松本 明紀

三木市体育協会の歴史	1
歴代体育協会会長（写真）	3
三木市体育協会設立及び近年10年のあゆみ	4
みっきいふれあいマラソン歴代優勝者	5
加盟団体の紹介	7
17種目単位協会	9
60周年記念事業	61
60周年記念事業	63
60周年記念事業実行委員会名簿	64
60周年記念功労者表彰 受賞者一覧	65
三木市体育協会資料	67
三木市体育協会組織図	69
平成26年度三木市体育協会役員名簿	70
三木市体育協会歴代役員名簿	71
三木市体育協会規約	73
三木市体育協会表彰規程・表彰基準	76
各種表彰者一覧	
三木市教育功労者一覧（三木市教育委員会表彰）	77
スポーツ推進委員功労者一覧（東・北播磨、県、近畿・全国）	78
三木市スポーツ賞表彰規則	79
三木市スポーツ賞受賞者一覧	80
市内スポーツ関連公共施設一覧	84
編集後記	85

発刊のことば



三木市体育協会 60 周年記念誌 発刊のことば

三木市体育協会会長 五百藏 征 幸

三木市体育協会は、昭和 29 年 7 月、三木市制施行と同時に発足し、以来、市民の体育・スポーツの普及発展に取り組み、今年で 60 周年を迎えることとなりました。

昭和 29 年に 7 種目でスタートしました三木市体育協会は、体育・スポーツの振興に情熱を持って取り組まれた関係者の努力とスポーツを愛好される市民の方々の参画に支えられ、17 種目の協会の加盟を得て現在に至っています。

設立以来 60 年、本市におけるスポーツの普及発展にご尽力された多くの先輩諸氏、そして関係各位に深く敬意を表するとともに厚く感謝申し上げます。

平成 25 年の 9 月には、2020 年の夏のオリンピックが 56 年ぶりに東京で開催されることが決定いたしました。私ども、体育協会としましても、東京オリンピックに向けての気運が高まる中で、本協会からもトップレベルの選手が輩出できるよう青少年の育成に力を注いでまいりたいと考えております。

併せて、スポーツを通して「こころ豊かな人づくり」に努めて、やすらぎと安心のある明るいまちづくりに取り組むことも体育協会に課せられた使命であることを意識し、今後とも活動して参ります。

この 60 周年を機に、体育協会関係者一同、新しい時代の流れに即した体育・スポーツの振興に取り組むことを決意し、「次世代につなげようスポーツの力」をスローガンに掲げ、その充実・発展に一層努力する所存です。

ここに記念誌を発刊するに当たり、資料提供をいただきました各種目協会関係各位並びに市民の皆様に対して、心から感謝の意を表しますとともに、この記念誌が三木市のスポーツの発展の足掛かりとなりますことを祈念し、発刊のごあいさつといたします。

祝 辞



60周年記念誌の発刊を祝して

三木市長 藪 本 吉 秀

三木市体育協会の創立60周年を心からお祝い申し上げます。

創立60周年の記念すべき年を迎え、関係各位の喜びはさぞかしと拝察いたしますとともに、記念事業として記念誌が発刊されますことを心からお喜び申し上げます。

貴協会は、昭和29年に創立以来、加盟チームや選手の皆様が数々の優秀な成績を残して栄光を築かれる一方、市民の競技スポーツの発展向上と青少年の健全育成に取り組んでこられましたことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝いたします。

また、このたび三木市グラウンド・ゴルフ協会が新たに加入されるなど、貴協会の創立の目的である「体育・スポーツ・レクリエーションなどの普及、振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の育成に寄与する」を実践され、スポーツを通じて地域社会を活性化する重要な役割を果たしていただいているものと存じます。

スポーツの振興は、市民の皆様一人一人の心身の発達と健康づくりに極めて大切です。三木市におきましても、平成22年9月に三木市スポーツ振興ビジョンを策定し、「スポーツを通じて健康でこころ豊かに暮らせるまち」を実現するため、市民スポーツの振興を図り、活力ある地域社会づくりに努めているところです。

貴協会におかれましては、今後とも三木市のスポーツ振興に一層のご尽力とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、アマチュアスポーツ団体として17種目の団体を擁し、大きく発展してこられた貴協会の今後ますますのご発展をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



三木市体育協会60周年を祝して

三木市議会議長 武 田 篤 美

三木市体育協会設立60周年を心からお喜び申し上げます。

このたび、その歩みを綴られた記念誌が発行されますことは、誠に意義深く、編集にご尽力を賜りました皆様に心から敬意を表します。

貴協会は、設立以来60年の長きにわたり、体育・スポーツ・レクリエーションなどの普及と振興にご貢献いただき、スポーツを通じて心豊かな地域づくりのため格段のご尽力を賜り、市の発展に大きく寄与してこられました。歴代の会長様、役員、会員の皆様の熱意とご努力に改めて敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、現代社会におけるスポーツは暮らしの中の楽しみとして、青少年の教育として、また、人々の交流を促し健康を維持増進するものとして、さらには生きがいとして多くの人々に親しまれています。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が決定しており、オリンピック出場という大きな夢に向かって日々練習に励んでおられる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

このような中、指導者や選手、団体の育成をはじめ、みっきいふれあいマラソンの開催等による健康増進と体力づくりの推進に向け取り組まれております貴協会の果たす役割は、今後ますます重要なものとなってまいります。

この60周年という大きな節目を契機に、今後とも、本市の生涯スポーツの振興や競技力向上に引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、三木市体育協会が大きく飛躍発展されますことをお祈り申しあげまして、お祝いのことばといたします。

祝 辞



祝 辞

公益財団法人兵庫県体育協会会長
兵庫県知事 井 戸 敏 三

三木市体育協会が創立60周年を迎えられ、その足跡を綴る記念誌を発刊されます。心からお祝いします。

昭和29年の設立以来、スポーツの普及振興を通じて、心身ともに健康で明るく豊かな生活を実現するため、少年スポーツ大会やみっきいふれあいマラソンの開催、優秀選手の表彰など、多彩な活動を展開してこられました。

また、平成18年の「のじぎく兵庫国体」では、三木総合防災公園が会場となったサッカー競技（少年男子）をはじめ、馬術競技、ソフトテニス競技（少年女子）の開催地として、市民の皆様とともに内外からの選手を温かく迎えていただきました。おかげさまで、阪神・淡路大震災から復旧復興した兵庫の姿を全国に発信することができました。歴代の会長や関係者の皆様のご尽力に心から感謝します。

2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに続き、2021年には、「関西ワールドマスタースゲームズ2021」がアジアで初めて関西で開催されます。これらの大会は、人口減少社会を迎えても豊かで充実した生活ができる地域をつくる絶好の契機となることでしょう。

兵庫県は、スポーツ立県兵庫をめざし、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致のほか、世界を舞台に活躍できる選手の養成などに取り組んでいます。また、シニア世代のスポーツの祭典「日本スポーツマスターズ2017」や、「関西マスターズスポーツフェスティバル」の開催など、生涯スポーツの機運醸成とすそ野拡大を図っています。

それだけに、三木市体育協会の皆様が、永年にわたり地域や世代を問わずスポーツに親しむ環境づくりに取り組んでおられることは、本当に心強いことです。これまでに培ってこられた経験と実績を礎に、これからも一層充実した活動を展開されることを願っています。

三木市体育協会のご発展と関係の皆様のご健勝でのますますのご活躍を心からお祈りします。

祝 辞



発足60周年を祝して

兵庫県議会議員 仲 田 一 彦

三木市体育協会が発足60周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げますとともに、今日に至るまでご尽力なされました歴代会長様をはじめ、会員の皆様のご精励に敬意を表します。

昭和29年、7団体での発足以来、加盟する団体は着実に増え、現在では17団体の皆様のご努力により、活発な活動が展開され、三木のスポーツ振興が支えられています。とりわけ「みっきいふれあいマラソン」は幅広い世代から多くの参加者があり、毎年好評を得ているところです。

その間、昭和62年には、岡田金属工業所のご厚志により（財）三木市スポーツ振興基金が設立され、各種大会への選手派遣にかかる助成制度が整備されるとともに、指導者養成・選手強化育成事業も行われるようになりました。また、平成16年には、市内の10地区すべてでスポーツクラブが立ち上がるなど市民の健康増進にも大きな役割を果たしてこられました。

高齢化社会に突入した今、健康で長生きできる環境の整備が不可欠です。さらに、2020年開催予定の東京オリンピック、その翌年に開催予定の、30歳以上のオリンピックともいわれる「関西ワールドマスタースゲームズ」を控え、地域を代表するアスリートを育成するためにも体育協会の果たすべき役割は一層大きくなると思います。

発足60周年を節目として、これまで以上に魅力ある事業を展開していただくことをお願い申し上げますとともに、100周年へ向けて、着実な歩みを進められんことを期待します。微力ではございますが、私も、市民の健康づくりをすすめるため、皆様とともに邁進していく所存でございます。

最後になりますが、三木市体育協会のますますのご発展と、皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、お祝いのことばといたします。

祝 辞



三木市体育協会60周年を祝して

三木市教育長 松本 明紀

三木市体育協会が、創立60周年を迎えられ、そのあゆみを記念誌として発刊されることは、誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。

三木市体育協会は、昭和29年7月、三木市制施行と同時に創立されました。以来、三木市民のスポーツの発展向上と青少年の健全育成を目指し、長年にわたり三木市体育協会の発展に努めてこられた歴代会長様をはじめ、関係者の皆様方に敬意を表し感謝申し上げます。

平成25年の9月には、2020年の夏のオリンピックが東京で開催されることが決定いたしました。このことは、人々のスポーツへの関心を高め、各団体で青少年の育成に取り組んでおられる三木市体育協会の底辺拡大・レベルアップにつながり、やがて世界にはばたくトップレベルの選手が生まれるものと期待いたします。

今後ともさまざまなスポーツを通じて、次世代を担う青少年の体力の向上と青少年の健全育成により一層努めていただきますようお願いいたします。

また、三木市におきましても、平成22年9月に三木市スポーツ振興ビジョンを策定いたしました。教育委員会といたしましても、三木市体育協会の皆様とともに、健康でこころ豊かに暮らせるまちをめざして、市民スポーツの振興を図ってまいります。

三木市体育協会のますますのご発展と会員の皆様方のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、60周年に当たってのお祝いの言葉とさせていただきます。

三木市体育協会の歴史

- ・ 歴代体育協会会長（写真）
- ・ 三木市体育協会設立及び近年 10 年のあゆみ
- ・ みっきいふれあいマラソン歴代優勝者

歴代体育協会会長



初代会長 井本 政夫 (故)
(昭和 29 年～ 36 年)



第2代会長 衣巻 顕明 (故)
(昭和 37 年～ 42 年)



第3代会長 鷺尾 弘志
(昭和 43 年～平成 23 年)



第4代会長 五百藏 征幸
(平成 24 年～)

三木市体育協会協会設立及び近年10年のあゆみ

昭和29年、三木市制施行と時を同じくした同年7月「三木市民のよりいっそうの体育・スポーツの普及振興」を願い、それまで単体で活動していた7種目団体が連携し、三木市体育協会が発足した。

その後、健康と体力づくりから発展したスポーツ熱の高まりや地域拠点である公民館体育施設の充実に伴う市民スポーツサークルの増加等、各種スポーツの普及発展を目的とした種目協会設立の機運が高まり、新たな団体の協会加盟へと結びついていた。

平成26年、グラウンドゴルフ協会の加盟により17単位協会と小学校体育研修部会、中学校体育連盟、高等学校体育連盟から理事を迎えた社会体育団体として活動を行っている。

平成16年、設立が進められていた、総合型地域スポーツクラブ21が市内10地区全てにおいて立ち上がり、さらに翌年の平成17年、吉川町との合併により全14クラブとなり、現在、地域に根ざした活動を展開している。もちろん、各単位協会(連盟)においても会員・団体数の増加に結びついたとともに事業の充実へとつながっている。

平成18年、「三木市のより一層のスポーツ振興のために」と多額の寄付金によって設立された(財)三木市スポーツ振興基金が20周年を迎え、記念式典の開催や記念誌が発刊された。記念講演はプロ野球星野仙一氏を迎え、氏の熱血トークに酔いしれた。

同年、これまで市街地道路で開催されていた、みっきいふれあいマラソンの会場が、開園間もない三木総合防災公園内コースに移行され、第14回大会より新たなスタートを切り、現在に至っている。

なお、歴代の会長は次のとおりである。

年 度	会 長
昭和29年～	井 本 政 夫
昭和37年～	衣 巻 顕 明
昭和43年～	鷲 尾 弘 志
平成24年～	五百藏 征 幸

のじぎく兵庫国体開催とその後

広域防災拠点としての機能を備え持つ総合防災公園で開催された少年サッカー、民泊による「ふれあい」をテーマにした少年少女ソフトテニス、さらに、国内最大級規模を誇る馬事関連施設、三木ホースランドパークで行われた馬術の3競技が本市で開催された。各会場とも、体育協会役員・関係者及び市民ボランティアスタッフの手によって支えられ、さらに、地元応援者から送られた心強い声援、響き渡る拍手により、心温まる大会となった。とりわけソフトテニス競技においては、国体開催を記念した新規事業、吉川CUP大会が中・高校生を対象にそれ以降継続して実施されている。

未来への展望

平成22年9月、「スポーツを通じて、心身ともに健康で活力ある生活の実現と、市民のいきいきと笑顔あふれるまちづくりをめざす」ことを目標とした本市のスポーツ振興ビジョンが策定された。これらをふまえ、全市民に対するスポーツ・レクリエーション活動の普及、振興への大きな役割を担うとともに、さらに充実したスポーツ組織へと飛躍発展していくことが我々の使命であると考えている。

みっきいふれあいマラソン歴代優勝者（第12回～第21回）

区 分		12 回			13 回		
種 目		優勝者	記録	所 属	優勝者	記録	所 属
10km 男子	1 部 (高校～29)	齊藤 真一	32'22	三洋電機岐阜	園田 達也	33'01	須磨友が丘高校
	2 部 (30～39)	山端 良尚	33'28	トクセン工業AC	山端 良尚	32'42	トクセン工業AC
	3 部 (40～49)	藤原 和臣	34'37	三木RC	寺谷 文弘	33'48	シスメックス
	4 部 (50～59)	大形 康晴	37'59		奥田 利之	38'34	大和整体院RC
	5 部 (60以上)	佐藤 宏道	40'10		佐藤 宏道	39'33	井原走ろう会
10km 女子	6 部 (高校～29)	山本真基子	46'29	Hander land	仲東 みか	43'20	神戸甲北高校
	7 部 (30～39)	山崎 幸代	41'09	三木RC	山崎 幸代	42'03	三木RC
	8 部 (40～49)	名賀 公子	40'29	下三方小学校	名賀 公子	41'12	下三方小学校
	9 部 (50以上)	上谷 年子	47'30		上谷 年子	46'48	
5km 男子	10 部 (高校～29)	園田 達也	15'46	須磨友が丘高校	岩本 大翼	16'38	須磨友が丘高校
	11 部 (30～39)	矢野 明弘	17'58	トクセン工業	小茂池潤太	17'10	三木RC
	12 部 (40～49)	長谷川和正	16'22	トクセン工業	長谷川和正	16'27	トクセン工業
	13 部 (50～59)	川津 克則	19'18		塩谷 益宏	18'28	
	14 部 (60以上)	炭本 直彌	18'57	王子サブ愛好会	炭本 直彌	19'09	王子サブ愛
5km 女子	15 部 (高校～29)	山下 智愛	17'31	須磨友が丘高	前田 夏海	18'51	三木高校
	16 部 (30～39)	井原 寛恵	24'49		大橋 玲子	23'42	
	17 部 (40～49)	大西佐知子	22'48		塩谷 啓子	21'13	
	18 部 (50以上)	高橋 礼子	21'11		下雅意典子	23'56	
5km 中学生	19 部 (中学生男子)	近藤 洋平	15'48	緑が丘中学校	田村 祐一		緑が丘中学校
	20 部 (中学生女子)	川上 夏紀	17'54	緑が丘中学校	下山かなえ		旭丘中学校
1.5km 小学生	21 部 (1・2年男子)	苗村 隆広	5'52	中寺小学校	森 脩帆	5'52	城乾小学校
	22 部 (1・2年女子)	福山 亜衣	6'33	広畑第二小学校	金山 理美	6'25	荒川小学校
	23 部 (3年男子)	川東 慶之	5'41	三木小学校	苗村 隆広	5'54	香寺走友会 Jr.
	24 部 (3年女子)	澤井 喜百	6'05	氷丘小学校	角野 真未	6'11	明石JRC
	25 部 (4年男子)	繁田 陽介	5'39	高羽小学校	川東 慶之	5'36	三木小学校
	26 部 (4年女子)	大西 恵奈	6'04	天満南小学校	澤井 喜百	5'47	氷丘小学校
	27 部 (5年男子)	内波 郁弥	5'29	中央小学校	藪下 響大	5'22	加古川RC
	28 部 (5年女子)	渡辺 真央	5'28	明石JRC	名間 望	5'32	西落合小学校
	29 部 (6年男子)	出口 遼	5'11	伊保小学校	樋上滝太郎	5'08	高倉台小学校
	30 部 (6年女子)	小舟 舞	5'28	別所小学校	渡辺 真央	5'18	明石JRC

区 分			14 回			15 回			16 回		
種 目		優勝者	記録	所 属	優勝者	記録	所 属	優勝者	記録	所 属	
10km 男子	1 部 (高校～29)	南部 恭一	32'07	三木 R C	木村 逸人	31'18	神戸甲北高	胸永 拓也	32'50	三木高校	
	2 部 (30～39)	福島 竜司	35'50	三木 R C	山下 智弘	34'43	尼北陸OB	吉野 嘉展	35'26	三菱電機神戸	
	3 部 (40～49)	寺谷 文弘	32'21	シスメックス	寺谷 文弘	31'54	シスメックス	寺谷 文弘	32'49	シスメックス	
	4 部 (50～59)	山本 泰典	35'30		長谷川和正	33'08	トクセン工業	田丸 末雄	37'46		
	5 部 (60以上)	佐藤 宏道	39'07	井原走ろう会	上田 博也	40'39		久保園勝己	45'17	三木RC	
10km 女子	6 部 (高校～29)	高谷 静香	38'19	須磨友が丘	井上 和美	36'56	アクトス	大貫 真実	36'13	三木高校	
	7 部 (30～39)	横山喜美子	44'55	三木 R C	池上 幸代	39'31		高橋 幸代	43'58	三木RC	
	8 部 (40～49)	名賀 公子	40'28		楯屋 直子	41'15		楯屋 直子	41'28		
	9 部 (50以上)	上谷 年子	44'38		上谷 年子	44'45		上谷 年子	44'56		
5km 男子	10 部 (高校～29)	宮本 武史	16'01	K C R C	江上健太郎	16'54	北攝三田高	延藤 潤	15'17		
	11 部 (30～39)	前田 高穂	17'03	関西電力	宮本 武史	16'37	K C R C	宮本 武史	15'46	K C R C	
	12 部 (40～49)	高谷 修平	16'38	ノーリツ R C	志知 治	17'27		高谷 修平	16'28	ノーリツRC	
	13 部 (50～59)	長谷川和正	16'22	トクセン工業	山本 泰典	17'34	加悦走友会	長谷川和正	16'53	トクセン工業	
	14 部 (60以上)	江口 譲典	18'37	明石大橋 A C	木村 昭一	19'45	しあわせの村RC	中塚 正信	20'10	フレンズ	
5km 女子	15 部 (高校～29)	酒井 詩織	18'05	三木高校	池町 有紗	18'26	三木高校	小山 夏子	17'40	三木高校	
	16 部 (30～39)	鈴木 淳子	21'03		梶原貴代美	25'13	Team the Beast	岡本 円	21'23		
	17 部 (40～49)	酒井 央子	21'06		酒井 央子	21'03		酒井 央子	21'18		
	18 部 (50以上)	橋上美代子	22'47	らん・Run・乱	山崎 恵子	20'56	黒田庄ランナース	池内恵美子	21'45		
5km 中学生	19 部 (中学生男子)	松岡 勇気	16'02	緑が丘中学校	赤松 宏樹	15'49	稲美中学校	藪下 響大	15'43	加古川山手	
	20 部 (中学生女子)	田邊摩希子	17'30	緑が丘中学校	清政 愛理	17'15	稲美北中学校	豊田 紗希	17'48	旭丘中学校	
1.5km 小学生	21 部 (1年男子)							杉本祥太郎	6'11	旭陽小学校	
	22 部 (1年女子)							松原 亜純	6'10	清須市立星の宮小	
	23 部 (2年男子)	福井 大菜	5'55	上荘小学校	中尾 大樹	5'28	曾根小学校	増田 悠希	5'43	網干小学校	
	24 部 (2年女子)	高橋 ひな	5'36	荒川小学校	佐藤 千夏	5'41	明石 JRC	鯉田 優奈	5'48	船津小学校	
	25 部 (3年男子)	森 脩帆	5'06	城乾小学校	藤山 翔太	5'23	明石 JRC	中尾 大樹	5'20	曾根小学校	
	26 部 (3年女子)	金山 理美	5'40	荒川小学校	高橋 ひな	5'13	加古川 R C	三浦 美吹	5'38	明石 JRC	
	27 部 (4年男子)	山本 友郷	5'13	北浜 J R C	森 脩帆	4'52	城乾小学校	上村 亮太	5'14	三木小	
	28 部 (4年女子)	橋口 綾香	5'16	陵北小学校	金山 理美	5'14	加古川 R C	高橋 ひな	5'02	加古川RC	
	29 部 (5年男子)	中田 京慶	5'03	北浜 J R C	高柳 俊隆	4'56	加古川 R C	森 脩帆	4'46	加古川RC	
	30 部 (5年女子)	吉島 奈那	5'04	加古川 R C	福山 亜衣	5'05	加古川 R C	金山 理美	5'04	加古川RC	
	31 部 (6年男子)	繁田 陽介	4'51	高羽小学校	川東 慶之	4'42	三木小学校	高柳 俊隆	4'43	加古川RC	
	32 部 (6年女子)	名間 望	5'05	西落合小学校	福田 有以	4'48	いなみ野小学生陸上教室	福山 亜衣	5'05	加古川RC	

区 分			17 回			19 回			20 回		
種	目	優勝者	記録	所 属	優勝者	記録	所 属	優勝者	記録	所 属	
10km 男子	1 部 (高校～29)	岡田 智士	33'23	大阪教育大学	西口 草太	34'21	加古川東高校	山本 悠平	33'44	東北大学	
	2 部 (30～39)	佐藤 英之	35'21	サンハウジング	吉野 嘉展	36'07	三菱電機神戸	中安 秀人	33'58	アチーブRC	
	3 部 (40～49)	寺谷 文弘	33'44	シスメックス	谷 英樹	36'47	かのなお★AC	寺谷 文弘	33'32	シスメックス	
	4 部 (50～59)	長谷川和正	34'30	トクセン工業	藤原 和臣	35'14	三木RC	藤原 和臣	35'39	三木RC	
	5 部 (60以上)	山岳 正人	42'31		足立 正登	38'18	太陽が丘JC	足立 正登	38'32	NTT-みやこ	
10km 女子	6 部 (高校～29)	安田ひかる	42'52	ユニバー SC	酒井 歩実	38'16	小野高校	酒井 歩実	39'38	ぽっきーず	
	7 部 (30～39)	高橋 幸代	40'56	三木RC	高橋 幸代	40'51	三木RC	小河 亜衣	40'12	小河競走部	
	8 部 (40～49)	中村 邦子	37'52	ごん	名賀 公子	41'24		松田 英子	41'34	西宮市陸協	
	9 部 (50以上)	川崎 洋子	48'04		吉峯あけみ	47'01		名賀 公子	40'56		
5km 男子	10 部 (高校～29)	田村 祐一	15'47	関西学院大学	西本 拓弥	15'12	関西学院大学	川東 慶之	15'36	三木高等学校	
	11 部 (30～39)	宮本 武史	16'10	KCRC	中井 芳聡	16'35	P-man	中井 芳聡	16'26	TEAM P-man	
	12 部 (40～49)	入江 恭輔	17'43		入江 恭輔	17'40	岡山教員クラブ	宮武 幹夫	17'21	龍電気	
	13 部 (50～59)	中島 守	19'25	関電赤穂	武田 清美	17'21		武田 清美	17'17		
	14 部 (60以上)	木村 昭一	20'22	しあわせの村RC	馬込 和明	18'53	マゴメ	仲田 邦夫	21'00	ガンバ万博AC	
5km 女子	15 部 (高校～29)	田邊摩希子	17'41	三木高等学校	岩崎 沙耶	18'26	三木高校	金井亜沙海	18'04	三木高等学校	
	16 部 (30～39)	岡本 円	21'29	えむRC	岡本 円	20'57		愛下 恵子	18'57	たんしん	
	17 部 (40～49)	田中 千洋	17'32		酒井 央子	20'34		酒井 央子	20'57	ぽっきーず	
	18 部 (50以上)	松平久美子	24'59		松平久美子	23'25		住野 睦子	23'28		
5km 中学生	19 部 (中学生男子)	簀下 響大	15'41	加古川山手中	藤田 兼至	15'59	稲美中学校	中尾 大樹	15'33	宝殿	
	20 部 (中学生女子)	善村穂乃香	17'58	三木中	新立 啓乃	17'45	竜山中学校	鳴瀧ほのか	17'48	稲美北中学校	
	21 部 (1 年男子)	山田 隼人	6'19	和迩小学校	本橋 堯也	5'58	岩岡JRC	三木 浩輔	6'10	高浜小学校	
	22 部 (1 年女子)	中西 佳音	6'43	飾磨小学校	岡井 夏凜	6'29		佐々木ルル	6'28	香呂南小学校	
	23 部 (2 年男子)	朝井 太子	5'59	三木JRC	川村 智哉	5'24	相生陸上教室	森 陽輝	5'32	大津茂小学校	
	24 部 (2 年女子)	竹本 有彩	5'50	北浜JRC	宮島 恵那	5'41	荒井小学校	上畑 真由	5'48	UAC	
	25 部 (3 年男子)	岸本 竜生	5'29	明石JRC	藤原 翼	5'34	香寺走友会 Jr	金月 利孔	5'09	広野小学校	
	26 部 (3 年女子)	荒井 優奈	5'44	美賀多台	陰山 朋佳	5'48	滝野南小学校	松井 晶	5'28	いなみの陸上教室	
	27 部 (4 年男子)	中尾 大樹	5'04	曾根小学校	朝井 太子	5'15	滝野東小学校	坂本 桃李	5'14	金岡小学校	
	28 部 (4 年女子)	三浦 美吹	5'22		神澤 桃	5'21	別所小学校	原田 佳奈	5'25	いなみ野陸上	
	29 部 (5 年男子)	上村 亮太	5'03	三木小	藤本 甚	4'59	八千種小学校	松橋 優	4'59	松が丘小学校	
	30 部 (5 年女子)	横川 海姫	5'11	高岡小	樋高美智子	5'06	岩岡小学校	井上 瑞稀	5'08	船津小学校	
	31 部 (6 年男子)	松澤 陸	4'56	三木小	田中 晴希	4'45	三木小学校	本多 晴飛	4'42	明石JRC	
32 部 (6 年女子)	岸本 蘭	5'08	明石JRC	鳴瀧ほのか	5'00		樋高美智子	4'58	岩岡小学校		

区 分			21 回		
種 目			優勝者	記 録	所 属
10km 男子	1 部	(高校～29)	渡辺 敏行	33'35	
	2 部	(30～39)	土井 洋志	34'01	
	3 部	(40～49)	寺谷 文弘	34'54	シスメックス
	4 部	(50～59)	山田 朗	36'27	ミズノ RC
	5 部	(60以上)	足立 正登	39'41	太陽が丘JC
10km 女子	6 部	(高校～29)	金井亜沙海	37'58	三木高校
	7 部	(30～39)	松岡 友美	42'23	
	8 部	(40～49)	高橋 幸代	41'33	三木RC
	9 部	(50以上)	名賀 公子	43'00	
5km 男子	10 部	(高校～29)	習田 悠斗	16'31	夢野台高校
	11 部	(30～39)	新開 亮二	17'02	
	12 部	(40～49)	磯部 健	16'48	セコム株式会社
	13 部	(50～59)	武田 清美	17'10	
	14 部	(60以上)	山本 秀男	18'20	大同化学RC
5km 女子	15 部	(高校～29)	相田 華	18'06	三木高校
	16 部	(30～39)	愛下 恵子	19'08	但馬信用金庫
	17 部	(40～49)	吉川かおる	20'33	
	18 部	(50以上)	佐貫 秀子	23'45	
5km 中学生	19 部	(中学生男子)	上村 亮太	15'38	三木東中学校
	20 部	(中学生女子)	田中 希実	16'46	小野南中学校
1.5km 小学生	21 部	(1 年男子)	河野晋太郎	5'59	白浜小学校
	22 部	(1 年女子)	肥塚 暖歌	6'03	御津小学校
	23 部	(2 年男子)	藤定 航	5'32	小野東
	24 部	(2 年女子)	井上 なつ	5'53	
	25 部	(3 年男子)	森 陽輝	5'21	大津茂小学校
	26 部	(3 年女子)	竹田 咲羽	5'42	安室RC
	27 部	(4 年男子)	高田 兼成	4'58	三木 JrR
	28 部	(4 年女子)	宮島 恵那	4'59	荒井小学校
	29 部	(5 年男子)	坂本 桃李	4'51	JRC みはら
	30 部	(5 年女子)	原田 佳奈	5'09	いなみ野陸上教室
	31 部	(6 年男子)	四方 和志	4'42	明石 JRC
	32 部	(6 年女子)	神澤 桃	4'54	別所小

※第 18 回大会は震災のため中止。

加盟団体の紹介

- ・ 三木市陸上競技協会
- ・ 三木野球協会
- ・ 三木市卓球協会
- ・ 三木市バレーボール協会
- ・ 三木市ソフトテニス協会
- ・ 三木市剣道連盟
- ・ 三木市柔道協会
- ・ 三木市空手道連盟
- ・ 三木市水泳協会
- ・ 三木サッカー協会
- ・ 三木バドミントン協会
- ・ 三木市ソフトボール協会
- ・ 三木市テニス協会
- ・ 三木市バスケットボール協会
- ・ 三木市ゲートボール協会
- ・ 三木市弓道協会
- ・ 三木市グラウンドゴルフ協会

三木市陸上競技協会

〔設立年度〕昭和28年9月8日

〔事務局〕三木市末広3丁目2-31 野田裕二方

〔加盟会員数〕40名（日本陸連登録者）〔団体数〕2団体

〔役員〕名誉会長 鷺尾 弘志

参 与 池町 耕一 小倉 滋 光川 敏郎

会 長 古田 寛明

副 会 長 渋谷 博生 藤井 晃正

理 事 長 野田 裕二

副理事長 糸 英行

事務局長 今西 宜幸

理 事 梅田 宏和 川端 康 梶尾 保

大橋 吉樹 常本 重次

監 事 藤原 和臣

三木市陸協では毎年6月に市内の小学生を対象として三木市小学生陸上競技選手権大会を主催している。この大会には小学5・6年生の男女が参加し、陸上競技発展の基礎を築いている。近年は総合防災公園第2陸上競技場で実施することにより、記録の向上と競技会への参加者増加が見られるようになった。

また、新年に三木市民駅伝を開催し、小学生をはじめとして中学・高校・一般まで多くの陸上愛好者の交流の場としている。大会の会場は長年グリーンピア三木内で行ってきたが、平成25年度より、総合防災公園の特設コースで行っている。

対外的には5月の県郡市区対抗陸上競技大会や2月の県郡市区対抗駅伝大会に選手団を派遣している。特に駅伝では県の強豪チームとして上位入賞の常連となっている。

北播地区においても北播小学生陸上競技記録会を平成23年から三木防災公園陸上競技場を開催場所として固定したことにより、当陸協が大会運

営の中核となって活躍している。

同じく23年度から兵庫県障がい者陸上競技大会も防災公園を開催場所として固定したことで、当陸協が大会主管の一翼を担うことになり、障がい者のスポーツ参加に大きく貢献することとなっている。

本協会において長年会長を務められた鷺尾弘志氏に代わって平成17年からは副会長であった池町耕一氏、平成20・21年は長年小野高校で陸上競技部の指導にあたってきた光川敏郎氏が会長を引き継いだ。そして22年からは市陸協の事務局長であった古田寛明氏が引き継ぎ、現在に至っている。

競技面では中高生の活躍が目覚ましく、長距離を中心に全国大会で活躍する姿を多く見られるようになった。特筆すべきは都道府県対抗駅伝の4区で区間新記録を出して兵庫チームの優勝に貢献した延藤 潤（三木高）と三木中から西脇工高に進み共に800mと1500mで2位に入るなど活躍し

ている西村陽貴がいる。また、平成21年には箱根駅伝に山梨学院大の8区として岸本 匡（星陽中出）が出場した。

以下、全国大会出場者を掲載する。

【平成17年】

全国中学大会 800m・1500m 川上夏紀（緑が丘）

全国中学駅伝 緑が丘中男子

【平成18年】

全国小学生クロスカントリーリレー研修大会 三木JrRC

【平成19年】

全国中学駅伝 緑が丘中男子

【平成21年】

全国高校総体 5000m 都道府県対抗駅伝 4区 区間新 延藤 潤（三木高）

【平成23年】

全国中学大会 200m・400m 山端一樹（三木東） 800m・1500m 康本花梨（緑が丘）
砲丸投 鶴田恭葉（三木東）
砲丸投・四種競技 守岡紗希（自由が丘）

ジュニアオリンピック B110mH 6位 笹田航（三木東）

【平成24年】

全国中学大会 200m 400m 福井孝志

3000m 藤田大智（自由が丘）

800m 2位 1500m 2位 西村陽貴（三木）

110mH 笹田 航 走高跳 村岡かすみ（三木東）

ジュニアオリンピック A3000m 4位 西村陽貴（三木）

【平成25年】

全国高校総体 800m 西村陽貴（西脇工）
1500m 康本花梨（須磨学園）

全国中学大会 100m・200m 戸塚悠太（緑が丘）

200m・400m 藤原広夏（三木）
藤本泰範（自由が丘）

3000m 上村亮太 110mH 武野竜斗（三木東）

【平成26年】

全国高校総体 800m 2位 1500m 西村陽貴（西脇工） 1500m 康本花梨（須磨学園）

全国中学大会 800m 田中晴希 3000m 筒井涼太（三木東） 110mH 前田涼也

1500m 村上美桜（三木）

ジュニアオリンピック C800m 6位 神澤桃（三木東）

全国小学生陸上競技交流大会 ソフトボール投 井澤茉美香（緑が丘東）

◎兵庫県郡市区対抗駅伝大会 の成績

実施年	男 子	女 子
平成18年	2部2位(総合7位)	1部3位(総合3位)
19年	1部4位(総合7位)	1部4位(総合5位)
20年	1部6位(総合6位)	1部4位(総合4位)
21年	1部7位(総合11位)	1部2位(総合2位)
22年	2部2位(総合7位)	1部4位(総合4位)
23年	1部5位(総合6位)	1部4位(総合4位)
24年	1部6位(総合7位)	1部優勝(総合3位)
25年	1部5位(総合5位)	1部6位(総合7位)
26年	1部6位(総合12位)	1部4位(総合4位)





平成 21 年 女子準優勝

県内の市郡が一堂に会する郡市区対抗駅伝大会ではこの10年間で県内の強豪としての地位を確立している。

男子は20年度と25年度に2部に降格しているがそれ以外は総合で7位以上とほぼ1部（全チームで10位以内）を保っている。この躍進の原動力になっているのが、駅伝で全国大会に出場した緑が丘中勢と山本武史（中央大）や近藤洋平（法政大）など同校の卒業生と三木高陸上部で頭角を現してきた延藤潤（自由が丘中出）や中西健（星陽中出）などの選手たちで中学勢は三木、三木東と全国中学大会に出場する選手が続くようになった。

また、女子は20年度に総合2位、22年度に1部優勝と24年度の7位が最低の成績とするほど上位の成績で安定している。20年前後は高吉理恵（自

由が丘中出）や川上夏紀などの須磨学園勢、そして亀岡知美（吉川中出）や大貫真実（三木中出）などの三木高勢は大学進学後も好走してチームを勢いづけた。



全国中学陸上 西村選手



都道府県対抗駅伝 延藤選手

三木野球協会

〔設立年度〕昭和21年

〔事務局〕三木市別所町西這田562-18 堀内方

〔加盟会員数〕（団体数）成年の部 44チーム 少年の部 7チーム
学童の部 5チーム 合計56チーム

〔現役員〕名誉会長 高島 末暢
会長 五百蔵征幸
副会長 室谷 仁美 仲田 一彦 魚住 英雄
理事長 堀内 修次
副理事長兼審判長 守谷 秋男
副審判長 山田 啓一 山根 一成 平尾 隆介
会計 木元 信幸
主任審判員 澤 陽一郎 堂田 清 松本 安史
小林 収 小林 哲也 木元 信幸
理事兼審判員 岩崎 国彦 藤本 雅典 金畑 亮一
由井 敏裕 山本 訓民 志原 浩基
有馬 太郎 衣笠 彰一 垣田 哲秀
藤田 光 山本 正一 魚住真一郎
菅原 真也 田中 啓賀 堀内 良彦
牛尾 俊裕
伊藤 寛宜（少年の部担当）
鶴目 充（学童の部担当）

〔上部団体等役職者〕

五百蔵征幸（財）兵庫県体育協会評議員

三木体育協会会長

堀内 修次 兵庫県軟式野球連盟理事

三木市体育協会理事

守谷 秋男 三木市スポーツ推進委員

●創立60周年をむかえて（昭和から平成へ）

昭和21年の終戦間もない時、世の中も荒廃し、何の娯楽もなかった時、野球を通じて青少年の健全育成を目的として、井本政夫、岡田勇、高田真光、神澤康介、杉浦悟郎、大林嘉蔵の各氏を中心

に、三木軟式野球協会が創立された。

時を同じくして兵庫県軟式野球連盟も創立され大林嘉蔵氏がその創立委員6人のメンバーとして活躍された。

終戦間もなく、一種の放心状態を持ちつつも懐

かしい人々が次々に復員され徐々にチームが結成され、三樹小学校の校庭には幾重にも人垣ができるほど、野球熱が盛り上がるなか、昭和22年、三木金物倶楽部が「軟式野球20周年記念全国大会」において、全国制覇を成し遂げ、その後も福岡県で開催の第3回国民体育大会に兵庫県代表として出場するなど大活躍が続いた。



三木金物倶楽部、軟式野球20周年記念全国大会に出場、全国制覇を成し遂げる。 昭和22年（神戸市民グラウンド）



三木市出身の元巨人軍青田昇選手と三木金物倶楽部大林嘉蔵監督のツーショット。 昭和23年（三樹小学校 校庭）

昭和30年代に入り、協会登録加盟チームも増加の一途をたどり、昭和31年7月に三木中学校校庭で開催された、天皇賜杯第11回全日本軟式野球大会兵庫県大会に出場した誠球クラブは苦戦の連続であったが見事優勝し、和歌山県で開催された、全国大会に出場している。

また、昭和37年度第14回兵庫県都市対抗軟式野球大会には、宮永正彦監督率いる三木キングクラブがベスト4の成績を残している。

その後、成年の部において加盟数の増加は、止まることなく昭和50年代後半には約70チームを擁するまでになった。

創立40周年を迎えた、昭和61年6月1日、三木大和殿において、「三木野球協会創立40周年記念式典」を多数のご参列をいただき盛大に開催し、諸先輩各位の御労苦に深甚なる敬意と感謝の誠を表した。



三木市軟式野球協会 40周年記念式典 昭和61年

平成2年8月には、三木山総合公園野球場が完成し、これを契機に数多くの兵庫県大会等を誘致開催してきた。

現在三木野球協会では、（公財）全日本軟式野球連盟並びに、兵庫県軟式野球連盟が主催する26大会の三木予選大会を、成年の部18大会、少年の部（中学生年齢）1大会、学童の部（小学生年齢）7大会の3部構成により、56チームが登録加盟し、年間約300試合を消化している。

また今年度（平成26年度）のプロ野球ドラフト会議において、吉川町出身の中村奨吾さんがロッテから、自由が丘ベアーズ出身の野間峻祥さんが広島カープからそれぞれ第1位で指名されました。三木市出身の人がドラフト会議において2名もの人が、それも第1位で指名されたことは大いに喜ばしく、今後市内の少年野球をしている人達にも大きな励みになると思います。

●この10年の記録

特に平成4年から、学童の部が再編され、全国大会への出場をはじめ、兵庫県大会等の実績は誠にすばらしく指導者各位の努力と熱意に深く感謝の意を表すとともに顕著な成績を記したいと思う。

【平成18年】

(成年の部)

白鷺サナトリウム

第25回播但選抜軟式野球大会B級
播但地区大会 B級の部 優勝

【平成19年】

(学童の部)

緑が丘スターズ

第14回播但学童軟式野球大会
播但地区大会 学童の部 準優勝

【平成22年】

(成人の部)

BLAVERS

高松宮賜杯第54回全日本軟式野球大会1部
於:京都府
全国大会 1部の部 準優勝



【平成23年】

(学童の部)

三木ユニオンズクラブ

近畿ろうきん杯甲子園記念大会
第25回学童軟式野球大会
県大会 優勝



決勝戦は甲子園球場で、加西代表に勝ち優勝 平成23年

【平成24年】

(学童の部)

緑が丘スターズ

第43回兵庫県学童軟式野球大会兵庫県決勝大会
兼近畿少年軟式野球大会兵庫県予選大会
県大会 優勝
近畿少年大会へ兵庫県代表として出場
第36回近畿少年軟式野球大会
近畿大会 ベスト4
第18回播但選抜軟式野球大会
播但地区大会 学童の部 優勝

(成年の部)

K・B・C

第43回兵庫県選手権大会B級
県大会 優勝
近畿大会へ兵庫県代表として出場

【平成25年】

K・B・C

近畿秋季軟式野球大会 (B級)
於:和歌山県
近畿大会 準優勝



三木市卓球協会

〔設立年度〕昭和29年7月1日

〔事務局〕三木市大塚1-5-24 岩崎方

〔加盟会員数〕（市内愛好者数）約500名

〔現役員〕会 長 中嶋 将雄

副 会 長 塩谷 英雄

事 務 局 岩崎 誠

顧 問 山本 晃一

理 事 木下 安男

岡田 茂美

吉永 紀子

佐々木良憲

関本 旬太

澤田 勝

宮本 敦子

氏田 俊子

多田 徹

平井 健一

上田 和弘

平上 文洋

武庫富美子

佐野 宜規

竹下 幸宏

山本 卓弥

小阪 啓子

●現在の活動状況（この10年間）

昭和29年6月1日三木市制施行の1ヶ月後に結成された体育協会に併せて誕生した三木市卓球協会は市制、体育協会と同じ年月を歩み、平成16年に50周年、そして平成26年で60年周年と歴史を刻み続けており感慨です。

歴史を振り返ると、協会発足時の小さな大会運営から昭和43年役員の充実。昭和52年、三木卓球クラブ発足。昭和55年から年4回の大会開催。平成元年の三木卓球クラブジュニアの活動開始から小学生部門（バンビ、カブ、ホープス）の県大会、全国大会出場という成果を得た。

昭和29年から東播地域で行う「東播七市親善卓球大会」では、阪神淡路大震災があった平成7年から9年に掛け、三木市代表は3年連続優勝。

平成9年からは、みっきいレディースオープン、みっきいオープン大会を開催運営。平成10年頃から役員手作りによるジュニア選手強化練習会。

平成10年4月からは「みっきいリーグ」開始。そして、平成12年4月10日「三木市卓球協会ホー

ムページ」を兵庫県下卓球協会初、三木市体育協会内初として開設。

以上、50年の歩みを踏まえ、その後の10年間の活動においては、「三木市卓球協会ホームページ」を通じ、当協会の年間各大会・リーグ戦の案内、大会結果のお知らせを掲載し、卓球愛好者と絶えず情報の共有を行いました。



【三木市卓球協会ホームページ】

都市部に出なくても三木で試合が出来る「みっきいリーグ」は17年目を迎え、延べ参加人数は、

平成26年10月末で15,335人を突破し、年間参加平均も1,100人と定着し、卓球愛好者の底辺拡大に貢献できた事と共に、小学生時にリーグ戦に参加した子供達が中学、高校等の全国級大会などで入賞することは大きな喜びとなりました。

夏休みの「ジュニア選手強化練習会」も平成14年から平成26年の13年間継続で開催しており、毎年約70人前後の中学生選手の強化を図ってきました。

平成9年から始めた「みっきいレディーズオープン卓球大会」、「みっきいオープン卓球大会」は、それぞれこの10年の累計2400人、総累計4500人、累計3500人、総累計8600人と多数の参加者と共にレベルの高い大会との評価を維持してきました。

各世代の選手で団体戦を戦う、東播七市親善卓球大会においては、平成18年～24年の間で、一般の部で準優勝6回、ベテランの部で優勝2回、準優勝3回と親善大会ではあるが安定した戦績を残してきました。

特に近年の大きな成績といえば、1つに平成24年度全日本卓球選手権大会マスターズの部において、当協会理事の2名が全日本ランキングに入りました。岡田茂美選手は「女子ローシックスティ」



【広報みき平成25年1月号での2選手】

でベスト8、宮本敦子選手が「女子ハイセブンティ」でベスト8。この成績により、広報みき平成25年1月号に二人の抱負が掲載されました。

2つ目は、平成26年1月の平成25年度全日本卓球選手権大会において、多田涼夏選手（吉川中出身）が「ジュニア女子」で優勝者の加藤美優選手に健闘し敗戦しましたが、ベスト32（4回戦進出）入りを果たしました。



【全日本卓球選手権大会の多田選手】

多田涼夏選手の成果の前には、全国クラスに通じる成績を残す先人的な活躍をした若手選手がいます。

平成21年度全日本卓球選手権大会「カデットの部」兵庫県予選において、明空美希選手（吉川中出身）が、「女子中学生2年以下の部」に6位



【平成22年ジュニア強化練習会の2選手】

に入賞し、同年11月に広島で開催された全日本選手権に出場しました。

また、平成22年度兵庫県高校総体の卓球競技で、吉岡理恵選手（三木中出身）が「女子個人」で3位に入賞し、平成20年の埼玉に続き、沖縄インターハイに出場したことを忘れません。



【新聞で活躍を期待される吉岡選手】

また、協会活動とは距離を置きますがトピックスとして、平成24年11月に当協会の岩崎誠事務局長が人命救助により、兵庫県の善行表彰「のじぎく賞」を受賞しました。普段の事務局という状況把握力と、卓球競技における俊敏な判断力の賜物と思うとともに共に、勇気ある行動に敬意を表します。

■池転落の男性救助 三木の岩崎さん表彰

車ごと池に転落した男性（86）を助け出したとして、兵庫県警三木署は1日、三木市民病院地域医療連携室の岩崎誠副室長（57）＝同市大塚1＝に県の善行表彰「のじぎく賞」を伝達した。
同署などによると、10月20日正午ごろ、同市大塚1のため池に乗用車が転落した。後ろを車ではなっていた岩崎さんが気づき、119番した。
車は当初、浮いていたが、救助隊員を待つ間に沈みだした。慌てた岩崎さんは、10メートルほど泳いで車に近づき、後部座席の窓から男性を助け出し、肩を引っ張って岸まで泳いだという。男性は少し水を飲んでいたが、無事だった。
岩崎さんは「わずか5分程度の出来事だったが、長く感じた。助かって良かった」と話した。（中川 恵）

賞状を受け取る岩崎誠さん＝三木署



●将来への展望

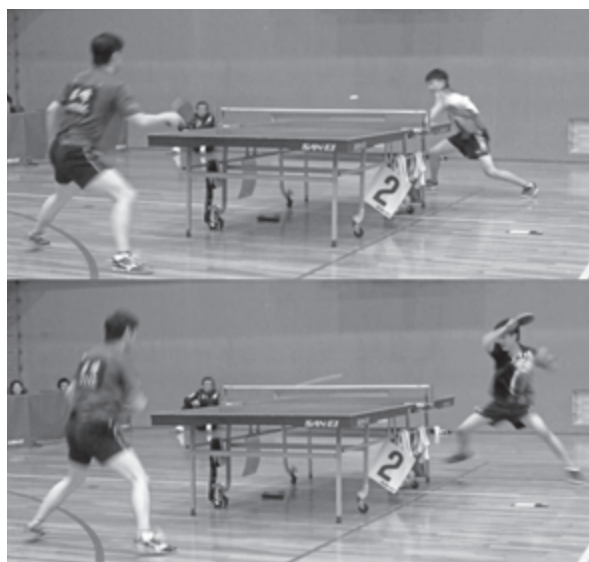
60周年を迎えての卓球協会の活動は、開催大会の整理を行いつつ、小中学生への指導による育成、定着してきた「みっきいリーグ」の継続による生涯スポーツとして明るく楽しみたいという愛好者に対して「いつでも卓球にふれあえる」機会提供に努めてきました。

これからも、卓球愛好者だけにとどまらず、より多くの人たちが卓球とふれあえる機会をもっと増やす活動を継続していきたいと考えています。

さらに充実期に新しく取り組んできた事を改良し、若い指導者の育成にも取り組み、色々なことにチャレンジし、これからもより沢山人達が卓球を楽しめるよう、卓球の街「三木」を目指して取り組んでいきたいと考えています。

●●● 熱戦！ラリー ●●●

平成26年11月23日に開催された、第18回みっきいオープン卓球大会の男子準決勝の力強いラリーです。



【みっきいオープン卓球大会の様様（H26.11）】

三木市バレーボール協会

〔設立年度〕昭和24年9月

〔事務局〕三木市大村474 西垣方

〔現役員〕顧問 森本 吉治 川島 富雄

会長 井上 要二

副会長 今安 孝次

理事長 小嶋 茂業

副理事長 白井 秀幸

会計 清原久美子

常任理事 西垣 弘志

輔信 智昭

田中紀美代

理事 多田 雅子

井上 良典

大崩 良貴

神澤 徳也

出雲 隆裕

仲上 尚吾

野中リヨ子

岡本 毅

岩崎 国彦

寺西やよい

西尾 勝茂

蓬萊太郎

塩賀 芳則

田窪 浩三

辻田 政顕

堀尾 由恵

藤井 孝博

井口 健太

●創設期からのあゆみ

(排球協会からバレー協会へ)

1949年9月に結成された三木排球協会を母体に1954年7月の三木市制発足に伴い、他の6団体とともに三木市体育協会を結成。同時に、三木市排球協会と改名し組織を発展させた。

1955年三木市主催で西脇・小野・三木の東播三市対抗親善排球大会(のちに北播地区市町対抗バレーボール大会に発展)を開催、1956年には第11回兵庫国体の国体旗三木地区縦走を排球協会を担当し市内を走り抜けた。

1964年の東京五輪での日本女子、1972年のミュンヘン五輪での日本男子の相次ぐ金メダル獲得により、日本中でバレーボール人気が高まる。三木市においてもバレーボール熱が高まり1969年に第1回三木市民家庭バレーボール大会が開催さ

れ、1977年には家庭バレーボール連盟・家庭婦人バレーボール連盟が相次いで発足した。

1980年にグリーンピア三木で開催された県民サマーフェスティバル(東播バレーボール大会)に現天皇・皇后両陛下をお迎えし、家庭バレーボール連盟役員がご案内の栄誉を賜った。

1977年頃より市内各地でスポーツ少年団としてのバレーボールチームが結成され、1984年に三木市排球協会内の少年部が発足した。

1987年(財)スポーツ振興基金が設立され、(故)元全日本女子監督の小島孝治氏を招いて講演会を開催する。以降、青少年へのバレーボールの普及・発展を目指し、ユニチカ(現東レ)、2013年からは富士通テン女子バレー部による選手強化練習会や指導者研修会がバレー協会の主管で毎年開催され、受講した女子小・中学生の中から高校で

春高バレーやインターハイ、国体等に出場し実業団チームに進む選手を輩出している。そして、この練習会が多く選手が社会人になってもバレーボールを続けていることの原点となっている。

1988年には三木市排球協会構成組織として家庭婦人バレーボール連盟が加わり、1989年昭和から平成に変わったことを受けて「三木市バレーボール協会」と改称した。1990年第1回ソフトバレーボール大会を協会主催で開催したことを契機に、三木市バレーボール協会内にソフトバレーボール連盟が発足し現在に至っている。



富士通テンチームによる 強化練習会

<現在の活動状況と将来への展望>

三木市バレーボール協会

会長 井上 要二

三木市バレーボール協会は、2000年に結成50周年を迎え記念事業として記念誌を発行したほか、2000年3月25日三木ホースランドパーク研修センター1で記念式典を開催しました。式典では兵庫県バレーボール協会会長をはじめ近隣市町協会役員、三木市行政・議会・教育委員会からの

来賓各位とともに三木市協会の歴代役員・現役員・現協会構成団体の各チーム加盟会員100名を超える参加者で50年の歴史を祝い、ますますの発展を誓い合いました。

現在、三木市バレーボール協会では、毎年9人制総合選手権大会・6人制総合選手権大会を主催するとともに主管事業として（財）スポーツ振興基金主催の選手強化練習会・指導者研修会に取り組んでいます。また、協会構成団体である各連盟が年2～3回の大会を主催開催しています。それにより小学生からシニアまで生涯スポーツとしてバレーボールに携わっていける土壌ができていることは喜ばしいかぎりです。

さて私こと、三木市バレーボール協会会長として長年ご尽力いただきました川島富雄前会長より、2013年4月会長職を引き継ぎ身の引き締まる思いで協会の発展に取り組んでいるところです。

本協会は、家庭婦人バレーボール連盟をはじめ家庭バレーボール連盟、ソフトバレーボール連盟、少年部の組織を傘下にした連盟組織です。役員として三木市中学校体育連盟の部活動指導者にも協力をいただき、「総合型地域スポーツクラブ」を通じて三木市民の健康づくりと交流を広げる活動の一翼を担い競技スポーツとしての技術向上にも大きく貢献できていると自負しています。

さて、日本のスポーツの歴史は学校体育と企業スポーツの二本柱で発展してきましたが、今日の長引く不況下での企業スポーツの後退と少子高齢化の社会状況等から、これからは社会体育としてのスポーツ活動が求められています。三木市では新しい取り組みとして「総合型地域スポーツクラブ」を立ち上げ、地域に密着した活動を各地で進めています。

近代スポーツ発祥の国イギリスではジェントルマン精神養成のためパブリックスクールにスポーツが導入され、卒業生が「クラブ」を創設してきました。イギリスから広まったヨーロッパ諸国のクラブでは、地域に根を張りクラブハウスを拠点

に子どもから高齢者まで幅広い活動がなされています。これがひとつのモデルになるのではと考えます。

今後の本協会の方向性として「学校部活動」と「総合型地域スポーツクラブ」、(財)「三木市スポーツ振興基金」等との連携を図りながら生涯スポーツとして、また、青少年の競技スポーツとしてのバレーボールのさらなる振興を図っていかうと考えています。

私は三木市バレーボール協会の一員として、微力ながらこれからの三木市スポーツの発展に頑張っていく所存であります。

三木市ソフトテニス協会

〔設立年度〕昭和23年

〔事務局〕三木市岩宮363-18平井宅

〔加盟団体数〕14団体

〔現役員〕名誉会長 永尾 隆保

会 長 西村 成一

副会長 大崎 徹

理事長 平井 徳

副理事長 千田 剛

常任理事 山下 公男

高島 正行

会 計 木下 元宏

会計監査 寺尾 直樹

田上 道 住本 俊之

佐古藤 実 三木 浩二

竹内麻里子

●吉川町との合併と吉川テニスコートの完成

最近10年間の中で当協会にとって最も大きな出来事は、三木市と吉川町の合併と、吉川総合公園テニスコートの完成であった。

吉川町は平成18年（2006年）の「のじぎく兵庫国体」の少年男女のソフトテニスの会場として町をあげて準備を進めていた。平成17年この吉川町と三木市との合併に伴い、平成18年1月に吉川ソフトテニススクール等の活動をしていた吉川クラブと三木市ソフトテニス協会が合体し、一体となって国体の準備を進めていくことになった。

平成17年6月に国体のコートとして使用される吉川総合公園テニスコート16面が完成し、三木市のテニスコートは平成元年にできた緑が丘スポーツ公園（8面）、平成11年に完成した三木山総合運動公園（8面）と合わせて一層の充実が図られた。平成17年7月に国体リハーサル大会として全日本実業団選手権大会が吉川総合公園で行われ、吉川クラブ、三木市ソフトテニス協会のメンバーがボランティアスタッフとして共同で大会の

運営をサポートした。

翌平成18年は「のじぎく兵庫国体」の準備と実施に追われた忙しい一年であった。特に吉川町では各家庭で選手の宿泊を受け入れ、暖かく「おもてなし」をしたことで、選手の好評を博した。協会も9月の末から10月初めの大会そのものまで1週間にわたり、多くのボランティアスタッフを派遣し、国体を成功裏に導くことが出来た。

以後、吉川総合公園のコートは県内屈指のコートとして使用されることになる。平成21年の全日本選手権大会（天皇杯、皇后杯）、平成22年の西日本選手権大会、平成23年の近畿小学生選手権大会、平成25年の全日本シニア選手権大会と毎年のように大きな大会が開催され、これらの大会の運営に対し、当協会のメンバーがボランティアスタッフとして大会運営のお手伝いをしてきた。これらの活動が認められ、日本ソフトテニス連盟から平成22年度の地方優良団体として当協会（三木クラブ）が表彰された。

●ソフトテニスの普及活動

旧吉川町では吉川クラブが主体となり、国体推進の一環として小学生、中学生を中心とした町民に対する吉川ソフトテニススクールを平成14年から吉川高校他のコートで実施してきた。吉川総合公園のコートができた後はこのコートで現在まで月2回のスクールを実施してきている。

平成17年6月ジュニアソフトテニス教室として市内の小学生約30人に対し、週1回2時間x10日の教室を始めた。当協会のメンバーが入れ替わりボランティアで小学生の指導に当たった。平成19年からは前期10日、後期10日として実施され、平成25年からは更に育成コースとして20日が追加され、1年を通してジュニアの強化を行うことになった。また、この一環として、平成24年から小学生・親子大会を始めた。



平成23年4月
前期ジュニアソフトテニス教室開校式

平成16年から25年までの10年間の市民大会参加者総数を下記に示す。市民大会への参加者がおおむね順調に増加してきている。

平成16年	952人	平成17年	858人
平成18年	912人	平成19年	926人
平成20年	764人	平成21年	924人
平成22年	960人	平成23年	1,048人
平成24年	1,414人	平成25年	1,109人

●主な成績（学生）

平成16年、三木高女子と三木東高女子が揃って兵庫県高校総合体育大会の団体戦でベスト8まで勝ち上がり、近畿大会に出場するという快挙が

あった。

平成20年、三木高の藤本有紀・藤本早紀ペアは兵庫県高校総合体育大会の個人戦で第3位という好成績を収め北播地区からは16年ぶりとなるインターハイへ出場した。この年の同じ県高校総体の団体戦では三木東高女子が4年ぶりにベスト8に入り、近畿大会に出場した。

中学生では、平成23年兵庫県中学校新人大会において廣井沙貴・上村香穂里（緑が丘中）がベスト8、佃菜々子・高芝咲希（別所中）がベスト16の成績を収め、両ペア揃って近畿中学校新人大会に出場した。また、平成24年県中学校新人大会で竹本彩音・谷川晴香（緑が丘中）がベスト16の成績を収め、近畿中学校新人大会に出場した。

小学生では平成25年県小学生秋季大会で小谷麻姫（別所小J）がベスト8に入賞し、近畿小学生選抜インドア大会に出場した。

●主な成績（一般、成年、都市対抗）

三木市ソフトテニス協会は規則により兵庫県ソフトテニス連盟や日本ソフトテニス連盟には「三木クラブ」とクラブ名を冠して登録される。兵庫県ではクラブ対抗大会が年2回行われ、男子は1部から12部、女子は1部から8部に分かれて覇を競っている。

三木クラブ男子は平成18年秋季クラブ対抗において6部優勝、5部に昇格した。翌平成19年の秋季クラブ対抗で5部優勝、4部昇格、さらに平成20年の秋季クラブ対抗において4部優勝、3部昇格と順調に成績を伸ばした。この後一旦3部から4部に降格するが平成23年の春季クラブ対抗において4部で再び優勝し、3部への再昇格を果たした。その後は順調に成績を伸ばし、平成24年の春季クラブ対抗では3部で優勝し、2部に昇格した。そしてついに平成25年の秋季クラブ対抗において三木クラブ（高橋知樹・千田剛・住本俊之・田上道・豆崎一樹・田口亮・寺戸要・相田竜次・森淳・赤松春彦・西田成希・中村俊樹・角拓也）は2部で優勝、念願の1部昇格を果たした。

平成26年春のクラブ対抗では3位と優勝こそできなかったものの見事に1部に残留した。

一方、三木クラブ女子は男子より一足早く好成績を収めている。平成17年の春季クラブ対抗において4部で優勝、3部に昇格すると、翌平成18年の春季クラブ対抗において3部で優勝、2部に昇格した。そして、平成19年の春季クラブ対抗において三木クラブ（田口雅美、尾上愛、松森祥子、竹内麻里子、筒井友香、増家邦佳）は2部で優勝し、見事1部に昇格した。しかし、1部の強豪の壁は厚く、同年の秋季クラブ対抗では1部の4位で終わり、2部に降格した。その後、平成21年の春季クラブ対抗において三木クラブ（松森祥子・尾上しのぶ・木下雅子・竹内麻里子・植野雅美・筒井友香・日高舞子）は2部で再び優勝し、1部に振り返り、同年の秋季クラブ対抗ではまたもや強豪に跳ね返され2部に降格した。その後は降格が続き、現在は4部にとどまっている。

個人では平成21年の県選手権大会で成年男子の部において田上道が優勝した。田上道はその後、平成23年の近畿選手権大会成年男子の部において3位に入賞すると、その勢いをかって、同年の全日本社会人選手権大会成年の部においてベスト8入賞という素晴らしい成績を収めた。そして、翌平成24年の県春季大会成年男子の部において優勝するとともに、日本スポーツマスターズ県予選の成年男子の部でも優勝し、同年10月の高知市での本大会に兵庫県代表として出場した。

都市対抗戦では平成17年の加古川都市対抗において三木市（千田剛、田口亮、西村成一、藤川弘志、松森祥子、馬場雅子）は県下の並み居る強豪と競い、3位という好成績を収めた。

平成24年の高砂都市対抗では三木市（住本俊之、田口亮、内橋敬陽、筒井政好、竹内麻里子、平野智子、千田剛、田上道、西村成一、藤川弘志）が初優勝を飾った。

●主な成績（シニア）

ソフトテニスとは昔から生涯スポーツとして親し

まれ、シニアの競技人口は多い。三木のシニア勢も寄る年波に負けずに元気に活躍してきた。

その代表格は男子では若林博之、女子では鎌田節子で、両名ともこの10年間、毎年のように好成績を収め、三木市スポーツ賞を受賞してきた。

若林選手の主な成績を以下に示す。

平成16年	県春季大会（男子65）優勝
平成20年	県春季大会（男子70）優勝 県民大会（男子70）優勝
平成21年	県春季大会（男子70）優勝 県民大会（男子70）優勝 県選手権（男子70）優勝
平成22年	県春季大会（男子75）優勝 近畿選手権（男子75）2位 全日本シニア選手権（男子75）3位 県選手権（男子75）優勝
平成23年	県春季大会（男子75）優勝 近畿選手権（男子75）優勝 全日本シニア選手権（男子75）3位 県選手権（男子75）優勝
平成24年	近畿選手権（男子75）優勝 県選手権（男子75）優勝
平成25年	県春季大会（男子70）優勝 近畿選手権（男子75）2位 県選手権（男子75）優勝

鎌田選手の主な成績を以下に示す。

平成16年	県民大会（女子60）優勝
平成22年	西日本シニア選手権（女子65）3位 全日本シニア選手権（女子65）3位
平成23年	近畿選手権（女子65）優勝 県民大会（女子65）優勝 西日本シニア選手権（女子65）3位 全日本シニア選手権（女子65）3位
平成24年	近畿選手権（女子65）優勝 西日本シニア選手権（女子65）優勝 県選手権（女子65）優勝
平成25年	県民大会（女子70）優勝 西日本シニア選手権（女子70）3位

全日本シニア選手権（女子70）3位
県選手権（女子70）優勝

この他、県大会優勝以上の成績をあげた選手として以下の選手がいる。まず、西昭信は平成17年県民大会（男子65）、平成20年県春季大会（男子70）、平成21年県春季大会（男子70）、県民大会（男子70）、県選手権（男子70）、平成22年近畿選手権（男子70）、平成23年県春季大会（男子70）、県民大会（男子70）、平成24年県春季大会（男子70）、県選手権（男子70）の各大会で優勝した。

飯野康雄は平成19年県春季大会（男子75）、平成20年県民大会（男子75）、平成21年県春季大会（男子75）で優勝した。

田中真三は平成19年県民大会（男子65）、平成22年県春季大会（男子70）、県民大会（男子70）で優勝した。

西村成一は平成17年県民大会（男子55）、平成18年県民大会（男子55）、県選手権（男子55）で優勝した。

福島弘子は鎌田節子とのペアで平成23年県民大会（女子65）、平成24年県選手権（女子65）、平成25年県選手権（女子70）で優勝した。

新原信幸は平成23年県選手権（男子70）で優勝した。

●今後の展望

平成26年から全日本選手権で男女とも80歳以上の部が新設された。一方、近年、小学生の全国大会も開催されるようになり、ソフトテニスの熱は幅広い年代層でますます高まってきている。これからも当協会は市民大会等を通して小学生からシニア迄の愛好者がそれぞれの年代に応じたソフトテニスに取り組めるようサポートしていきたい。



平成26年 三木市民ソフトテニス会長杯大会
（緑が丘スポーツ公園）

三木市剣道連盟

〔設立年度〕 昭和26年8月（事務局）三木市別所町高木793-2 近藤隆宣方

〔加盟会員数〕 一般会員87人（剣道教室9団体、高校・中学部6）

〔現 役 員〕 名誉会長	小紫 邦夫		
相 談 役	藤原 淳作	岸本 晃	高橋 洋三
	森下 哲次		
指導顧問	黒田 忠夫	檜皮 隆夫	戸田 明儀
参 与	那須敏比古		
会 長	神澤 正輝		
副 会 長	小椋 治朗	澤田 薫	
幹 事 長	木下 穂玄		
成人指導部長	西岡 伸泰		
青年指導部長	松本 克基		
少年指導部長	小林 哲也		
学校指導部長	小寺 正敏		
事業企画部長	神澤 文和		
広報部長	澤田 薫（兼任）		
会 計	植田 吉則		
事務局長	近藤 隆宣		

●創立60周年記念事業

○創立60周年記念式典

平成25年9月1日（日）、吉川総合公園文化体育館に、全日本剣道連盟（以下全剣連）副会長福本修二氏（剣道範士8段）を招き記念講演会を開催。福本氏は長年専務理事として事実上全剣連をリードしてきた実力者。その先生から



今後の剣道のあり方

を示唆していただこうと、会員はもちろん

東播各地から友誼

団体のメンバーも参

集した。福本氏は「剣道の特性と日常生活」と

題した90分に及ぶ講演で、「21世紀の今日の

様々な社会問題も剣道で克服できる」とし、「指

導者は剣道のよさをしっかり理解し、伝えて」

と話した。

○「三木市剣道連盟発行広報集成」DVD

このDVDは、当連盟が発行し続けてきた「日

曜会ニュース」「三木市剣道連盟ニュース」「剣

道だより」のすべてを収録。約200号600ペー



ジに及ぶ。広報紙の発刊は当連盟のきわだった特徴で、過去28年間発行し続けている。元会長藤原淳作（現相談役）・金井善純氏らが編集に携わり、ここ数年は前会長高橋洋三（現相談役）・澤田薫が担当。「剣道だより」として169号に達し、当連盟ホームページにも随時アップし広報に努めている。

●組織の確立

平成12年度、第4代会長小紫邦夫氏就任以来、組織は現在の形に確立された。幹事長に澤田薫氏を据え、幹事会を合理化。事前に議題を決め、専門部の提案者が原案を作り、討議にかけて、決定事項は欠席者にも報告された。幹事会は年平均6～8回。小紫会長以下、高橋・森下・神澤の3副会長と澤田幹事長の役員は10年間変わらず、また、専門部の部長を14年間勤めた大柴敏昭少年部部長、事業企画部長田畑 修、下瀬澤生、神澤文和の各氏、成人指導部長の安栖敏夫（故人）、小椋治朗氏、学校指導部長小寺正敏、武中敏彦氏、会計の植田吉則、事務局長の西岡伸泰、木下穂玄、近藤隆宣の各氏、広報部長も金井善純氏から高橋洋三氏が引き継ぐ。

平成22年度、高橋洋三氏が第5代会長に就任し、組織は一層強化され、幹事会に上程されるまでに各部会で原案作りが練られるようになった。

平成26年現在、神澤正輝第6代会長のもと、青年指導部を新設するなど組織改革を進め、さまざまな事業（剣道大会や審判講習会等の研修会、少年対象級位認定審査会ほか）を、それぞれの専門部に所属する部員の参画を得て円滑に運営している。

●生涯剣道への道

剣道の特徴は、その競技年齢の長さである。三木剣連の会員も若い時になじんだ剣道を高年齢になっても続けている人が多い。少年剣道の指導者として。仕事の合間に。健康保持のため。理由は

いろいろである。まさに「生涯スポーツ」である。そういう人にとって目標の一つは剣道連盟が定める昇段制度である。当三木剣連でも長年の修業の結果、ここ10年で多くの会員が6・7段に昇段した。現在当三木市剣道連盟の7段教士14名。6段錬士14名。5段21名。公認審判員金15名、銀2名である。

■剣道7段昇段者（平成18年～）

小椋治朗、武中敏彦、宮脇英光、檜皮隆夫、小寺正敏、森下哲次、田畑修、西岡伸泰、下瀬澤生、小紫邦夫

■剣道6段昇段者（平成20年～）

木下穂玄、井上海人、大西健、大柴敏昭、植田吉則、木村文教、小林隆仁・松本克基

中でも最高齢で7段に合格した小紫邦夫名誉会長（写真）は、生涯剣道の模範として地元新聞でも取り上げられた。



●少年剣道の10年

三木市は少年剣道教室（団体）の活動が活発である。現在市内の団体は「三木中央少年剣道教室」、「三木別所少年剣道教室」、「三木平田少年剣道教室」、「志染スポーツ少年団剣道部」、「自由が丘少年剣道教室」、「緑が丘スポーツ少年団剣道クラブ」、「口吉川少年剣道教室」、「三木少年剣修会（三木警察署内）」と吉川剣道協会に所属する「吉川剣道少年団」の9団体（教室）である（以下団体名は略称で表記）。主な活動、戦績は以下の通り。



○「兵庫県警察署少年柔剣道大会」

毎年7月末開催の県下警察管区の代表で争われる。三木署からは春の「別所公春祭り共催剣道大会」で選手を選び出場。

■戦績

平成17年度ベスト8、平成18年度ベスト16、平成20～22年度まで準優勝。23年度中止、平成24年度準優勝（写真）。

○「東播少年剣道大会」 東播地域各市町持ち回りで開催、毎年3月末開催

■戦績

平成17年度、小学生団体女子の部:自由が丘3位

平成18年度、中学生団体女子の部:自由が丘3位

平成21年度、小学生男子の部:吉川ベスト8

平成22年度、中学生男子の部:吉川3位、小学生女子の部:自由が丘3位

平成23年度、小学生男子の部:吉川3位、中学生男子の部:吉川2位

平成24年度、中学生男子の部:吉川優勝（三木剣連初）

○「中兵庫少年剣道大会」明石市を除く国道175号線の沿線各市町で、毎年6月開催。毎年女子個人戦の活躍が顕著だが、団体戦の主な戦績を記す。

■戦績

平成20年度、小学生:自由が丘・別所3位、中学生:自由が丘2位、中央3位

平成22年度、中学生:吉川優勝、自由が丘3位

平成23年度、小学生:吉川優勝、中学生吉川優勝・準優勝

平成24年度、中学生:吉川準優勝

平成25年度、中学生:吉川3位

平成26年度、中学生:吉川3位

○「新春奉納少年剣道大会」市内大会。三木東ライオンズクラブ後援。氏神を祀る市内の各神社境内の土の上で試合をするユニークな大会（平成22年度に26回大会をもって終了）。

■戦績 小学生団体優勝チーム

平成16年度:口吉川、17年度:三木中央、18・19・20年度:吉川、21年度:志染

●悲願の東播優勝（連盟青年部）

安栖敏夫成人指導部長（故人平成25年逝去）の登場で若手に火が付いた。何とか1度でも優勝旗を手にしたと安栖氏指導の下、稽古が始まった。61回を数える「東播地区親善剣道大会」に、当三木剣連は優勝が無い。平成17年度（西脇市開催）こそ予選リーグで敗退したものの、平成18・20・21・22年度と3位に食い込み、決勝を窺うまでになった。平成26年度の高砂大会でも3位。「きっと東播各市の頂点に立とう。」と故安栖氏は言い続けていたが、今や当剣連青年部の悲願となっている。

この東播大会への稽古を契機に、青年たちは積極的に試合に出場。姫路市で行われる「長野旗争奪剣道優勝大会」に第46回大会（平成22）から初出場してベスト8。以後毎年出場。また、兵庫県剣道連盟主催の「兵庫県剣道優勝大会」（例年11月23日）にも2チーム出場し、平成21年から4年連続ベスト16入りするなど「三木はやる!」と評価されている。

●指導の先生は揃ったが…高校剣道部

三木、三木北、三木東、吉川と、市内の県立4高校にはいずれも剣道部があるが、部員数が少ないのが悩みの種。平成24年以来市内の4高校にはそれぞれ剣道を修練した高段者の先生方が揃っている。三木北高校には剣道8段の高村教頭、安田隆一・先坊昌之・柴田陽子の3先生がおられる。三木東校には若手の八木啓介先生、三木高には武中敏彦、それにベテランの小寺正敏両7段が、吉川高校には東播親善大会女子4・5段の部で優勝した大西由記先生が。これらのよき指導者を得て簡単には負けなくなった。春秋の東播大会とそれ

につながる県総体、県新人戦に三木勢も東播地区予選を勝ち抜き、県大会に駒を進めることが多くなった。ここ10年間はほぼ毎年県大会出場を果たしているが、県大会入賞までには程遠い。これまで県大会ではベスト16が最高。平成26年度春の東播大会で三木高男子団体が3位入賞。これは38年ぶりの快挙。この大会で三木東高校の杉正香菜も女子個人戦で優勝した。

●忘れえぬ恩人たち

○故手島昇先生（写真）は、九州大分県別府の生まれ。鹿児島県種子島で育ち、小学生の時神戸に移住、中尾巖範士の指導を受け剣道に目覚めた。京都平安高、龍谷大学剣道部。一時母校平安高校の剣道部顧問もして



いたが、昭和57年吉川に来て、吉川剣道少年団結成に参画した。昭和63年同少年団の主任指導員となり独自の指導法で少年たちを指導し、多くの剣士を育てた。その成果は平成2年第9回三木市青少年健全育成大会女子団体の部初優勝を皮切りに、男子団体6連覇（平成19～24）、新春奉納大会3連覇達成（平成19～21）に表れ、警察大会、東播少年剣道大会等に教え子たちは目覚ましい活躍をみせた。極めつけは平成23年6月26日の「兵庫県少年剣道の集い」、吉川剣道少年団は遂に準優勝に輝く。（三木市では最高）手島氏は病を冒してチームを監督したが、僅かその半月後の7月14日急逝、65歳だった。当連盟の年越し稽古には必ず顔を見せ、吉川で毎年錬成大会を開くなど剣道の普及と少年剣道の育成に努めた。

○ 故安栖敏夫氏（写真）は神戸市西区北山台在住、青山公民館で稽古する三木剣連の会員と接点ができ、指導されるようになった。氏

は福岡県出身。高校卒業後剣道特練生として兵庫県警に採用され、本格的に剣道を修業。兵庫県警及び県代表として全国大会に出場して勇名を馳せた。



平成17年三木市で行われた東播7市親善剣道大会で伊藤明裕先生（現剣道8段）と日本剣道形の模範演武をして以来、審判講習会の講師などになり、平成20年度三木剣連の成人指導部長に就任（平成20～23年度）。平成24年度指導顧問となり、当剣道連盟三役として会員を指導した。

「剣道だより」166号安栖敏夫追悼号には氏の功績を次の5つにまとめてある。①審判員の質の向上に努力。②稽古の質を高めレベルアップに貢献。③若者のやる気を引き出し、積極的に試合に臨んだこと。④「紫雲館剣道場」の師範となり会員の昇段を助けたこと。⑤自ら稽古の先頭に立ち休まなかったこと。平成25年7月9日急逝。同166号には多くの会員が思い出と感謝の気持ちを寄せている。

●展望

子どもから高齢者に至るまで共に剣を交え心身を鍛え心を通わせる、そんなすてきな剣道の普及発展に尽くすことが当連盟に課せられた唯一の道であると信じる。先人の偉業を引き継ぎ、ここ三木の地に武道の文化が根付くように今後も組織を挙げて取り組んでまいりたい。

三木市柔道協会

〔設立年度〕昭和29年7月

〔事務局〕三木市細川町西20 五百蔵方

〔加盟会員数〕（団体数） 120名（2道場、1教室）

〔現役員 会長 永尾 隆保

理事長 池田 哲雄

副理事長 中村 古

理事 森田 正己

池町 雅宏

武川 正英

今井 隆之

錦 昌宏

宮野 公平

五百蔵 勲

●今までの活動

三木市柔道協会は、体育協会発足時からその傘下に入り同じく今年で60周年を迎える。前身は三木武道連盟と称し、ふいご祭りの武道大会などを盛大に開催していた。

現在も別所公春祭り共催柔道大会、義民祭柔道大会など市民大会の企画、運営等をおこない市内の柔道の普及、発展に務めている。

三木の柔道は古くから市内の私設道場、いわゆる「町道場」が実質的にその活動の中心を担ってきた。戦前の三木尚武館を始め、青田道場、山本道場等有名な道場が割拠した。現在も、戦後まもなく故武川茂夫氏が創設した「三木武川道場」、昭和55年に中村古氏が設立した「誠心館」、さらに地域の公民館のサークル活動として、志染町公民館で池田哲雄氏が指導する「三木少年少女柔道教室」など年少から一般青年、壮年層まで幅広く活動が行われている。

●各団体の紹介

三木武川道場 代表 武川正英

昭和22年8月代表者の父親、故武川茂夫氏の創設で、すでに半世紀を越えることになる。兵庫県下でも最も有名な道場のひとつである。

先代は豪快な人柄で、人望も厚く、その性格のとおりおのびのびとしたおおらかな柔道の指導で、常に県下の強豪に数えられていた。

この精神に加え、現在二代目の正英氏のもとで、基本を大切にそれぞれの個性を生かしたきめ細やかな指導がなされている。

武川氏によれば、

「小学生が中心ですから、身体づくりを基本に指導しています。道場を巣立っていった子どもたちが、結婚して子どもが生まれてその子どもと一緒にまた戻ってきてくれるということに大きな喜びを感じます。」と、さすがに歴史のある道場ならではのことばである。そして、「父の時代から約40年の永きにわたって指導していただいている、錦清水先生とともに、いつかこの道場からオリンピックに出るような選手が育ってくれることを楽しみに指導しています。」とのことである。

誠心館 代表 中村古

武川氏と同じく柔道整備師の中村古氏が昭和55年4月に緑が丘で始め、後に現在の西自由が丘に柔道場を新設し現在に至っている。

その間、熱心な指導のもとにたくさんの門下生が集まり、多くの選手がすばらしい成績を取って

きた。

また、中村氏の幅広い人脈から、栗村曜似氏（元京都府警察柔道主席師範、京都市柔道連盟会長）や藤猪省太氏（天理大学教授）を迎え講習会なども行っている。

中村氏に目標や指導方針を聞くと、
「小学生では東播大会で優勝を目指せるチーム作り、中学生では柔道部のない三木市から個人戦で東播大会優勝、さらには県大会でも通じる選手を育てたい。」とのこと。しかし、「柔道が強くなる前に、まず、礼儀正しく挨拶ができる子どもになってほしい。小学生のときは勝つことよりも楽しく柔道をしてほしい。そして、柔道を好きになって中学、高校、社会人へと長く続けられるよう愛情をもって育てていきたい。そして、柔道をしている子どもやその親たちに『柔道をやっているよかったなあ』と言ってもらえるよう柔道のすばらしさを教えていきたい。」とのことである。

三木少年少女柔道教室 代表 池田哲雄

長年にわたり柔道に情熱を注ぎ続ける協会の理事長池田哲雄氏が、おもに初心者を対象に指導している。

現在、各地の少年スポーツの母体はスポーツクラブ（少年団等）が多くを占めている。柔道もその例外ではなく、昔は隆盛をきわめた「町道場」が県下でも数少なくなってきた。そのような状況の中で市内に2か所も存在するのは特筆すべきものであり、各道場の今後さらなる発展を期待するものである。

●最近の活動

選手の育成と指導の充実を図るために、日本代表選手やオリンピック選手等を数多く指導された実績のある、講道館柔道8段栗村曜似氏（元京都府警察柔道主席師範、京都市柔道連盟会長）をお招きして、平成19年3月に「柔道実技講習会」を、

同年9月に「柔道指導者研修会」を実施した。



【平成19年3月24日(土) 柔道実技講習会 三木高校武道場】

●今後の展望

市内の高校4校に柔道部はあり、熱心な指導をされている先生もおられるが、最近の少子化の影響で、少ない部員でかろうじて存続しているのが実態である。

柔道人口は減少しており、市内の中学校に柔道部がない当市では特に顕著に表れている。前述の「町道場」がわずかにその代わりを果たしてくれてはいるが、やはり中学校に柔道部がある小野市などに比べるとその影響が大きいと思われる。

近代柔道を世界に開かれた嘉納治五郎先生のことばに「精力善用自他共栄」とある。若いエネルギーを「善用」するために、さらには「自他共栄」の社会を築くために、これからも、小学生から中学生、高校生、社会人へと生涯にわたって柔道を続けていけるような環境を整備し、また、選手の育成から市民の健康づくりに至るまで幅広い活動をめざしていきたいと考えている。

三木市空手道連盟

〔設立年度〕昭和55年4月

〔事務局〕三木市志染町中自由が丘2丁目134-6 白石 直之方

〔加盟会員数〕（団体数） 70名（1団体）

〔現役員〕会 長 白石幸一郎

副 会 長 横田 明彦

理 事 長 白石幸一郎

理 事 横田 明彦

三木市空手道連盟は昭和45年5月に兵庫県立三木高等学校生のOBが主体となり野田義一先生の教えの元、三木市空手道同好会として発足する。昭和43年には三木市体育協会に入会

昭和55年4月に三木市空手道連盟を結束する。約10年間、野田先生が初代会長を務められる。平成2年4月から宮上能員先生が二代目会長として就任され三木市の自由が丘地区の子供たちに空手道を広める。平成8年頃より体調を崩され、後任に三代目会長になる白石幸一郎先生が就任され現在に至る。

ここ10年の活動としては、5月に行われる別所公春祭り空手道大会や11月に行われる三木市少年スポーツ大会行。三木市の協力団体と一緒に毎年行い又指導者による審判講習会も開く年2回の昇級試験や自由が丘公民館の文化祭の模擬店出店や三木市立総合隣保館の文化祭にも模擬店を出店する。

平成18年には第61回国民体育大会が兵庫で開催され空手道の部は豊岡市立出石中学校体育館で行われ協力委員として会長の白石幸一郎が派遣される。

最近の試合結果

小・中学生は兵庫県大会、全国大会の予選に参

加するも予選敗退する中で平成24年6月3日第12回大会では、後藤佳成君、小学2年生形の部で3位に入り三木市スポーツ賞を（奨励賞）受賞する。今後の活躍が期待される。

一般練習生も40歳以上を対象にした日本スポーツマスターズ兵庫県予選に男性4名女性2名が全国大会をめざし参加。

35歳から空手を始めた中谷直樹さんが（男子組手1部40～44歳・組手2部45～49歳）で3度、全国大会出場する。

会長の白石幸一郎は（男子形3部60歳以上）で4度出場し平成18年広島大会では5位入賞となる。平成25年度は男子形4部70歳以上でも全国大会出場を果たす。





平成24年度三木市スポーツ賞（被顕彰）を白石直之・中谷直樹・森下正弘、平成25年度、小泉隆成が受賞する。

三木市空手道連盟の今後

今後、2020年に東京オリンピックが開催されます。空手道競技も正式種目化を推進しています。その年までに世界に通用する選手を育てると共に少子化による道場生の減少はありますが、これから青少年育成に力を入れていきます。



三木市水泳協会

〔設立年度〕昭和45年

〔事務局〕三木市緑が丘町東2-11-20 天野方

〔加盟会員数〕150名（日水連公認審判員5名・日水連選手登録者100名）

〔現役員〕会 長 天野 文利

副 会 長 平島 徹

理 事 長 藤本 哲也

理 事 栗林 英夫

渡辺かおり

●現在の活動状況

主催事業として三木市民水泳大会（夏季・春季）を開催し、育成事業としてスポーツ少年団を運営し、毎夏、強化練習会を開いている。また平成23年からは、のじぎく水泳大会（兵庫県健康福祉部障害福祉局障害者支援課の大会）の運営も依頼されている。この大会は県下多数あるプールの中で、施設面で三木山総合公園屋内プールが評価された結果であり、運営面においても、三木市水泳協会の活動が評価されている結果である。

このような活動の基盤になっているのは、関係者の水泳への理解と協力である。大会運営には、水泳部以外の高校生、一般市民の方々など、多くのボランティアの方々にも協力していただいている。もちろん市内の小中高校の指導者、顧問是水泳協会に加入し、大会運営や屋内プール使用の方法等を話し合う機会を持ち、各校種間の指導の連携に役立てている。このような指導力向上や連携強化のために、水泳協会は、指導者としての資質を高めるために日水連公認審判員資格を取得する場合、文書の手配や申請、講習会に関して支援を行っている。

水泳協会としては、三木山総合運動公園屋内プールの日本水泳連盟公認大会の実施にも力を入

れている。県大会の上位入賞者や全国レベルの大会の出場者なども参加するような公認大会を開催することで、市内の選手、水泳関係者がより高いレベルの競技に触れる機会を増やし、競技力向上、指導者研修を支援することを目的としている。屋内プールの宣伝広報も兼ねて、プール開館当初から年間7～8大会を実施している。また、これらの大会が過密、過重にならないように、水泳協会が調整役となって「教育委員会文化スポーツ振興課」に一括申請をするように、「美しいまちづくり課」から依頼されている。

平成22年に新体制となって5年、前会長の山村富和氏が40年間かけて作り上げた水泳協会の実績と信頼を受け継ぎ、これからも関係各所と連携を取りつつ、三木山総合運動公園屋内プールを活用し、市民の方々の理解を深め、関心を広めて、水泳の活性化のための活動に力を入れていきたい。

●10年間における全国大会出場記録

平成17年度

中学校総合体育大会	自由が丘中学校 400m リレー（福田・伊藤・野津・柳田）：近畿大会第2位 自由が丘中学校 400m メドレーリレー（柳田・澤井・野津・伊藤）：近畿大会第5位 星陽中学校男子 200m 背泳ぎ（藤原）：近畿大会第4位 三木中学校女子 400m 個人メドレー（栗林）：近畿大会第2位
-----------	---

高等学校総合体育大会

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（5名）
----	---------------------

平成 18 年度	
中学校総合体育大会	中学校総合体育大会 自由が丘中学校リレー（福田・伊藤・野津・澤井）：近畿大会第6位 自由が丘中学校女子 100m バタフライ（野津）：近畿大会第2位 自由が丘中学校女子 200m バタフライ（野津）：近畿大会第4位 三木中学校女子 400m 個人メドレー（栗林）：近畿大会第2位 三木中学校女子 200m バタフライ（栗林）：近畿大会優勝 緑が丘中学校女子 200m 個人メドレー（長田）

高等学校総合体育大会	—
------------	---

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（5名）
----	---------------------

平成 19 年度	
中学校総合体育大会	自由が丘中学校女子 100m バタフライ（野津）：近畿大会第4位 自由が丘中学校女子 200m バタフライ（野津）：近畿大会第5位

高等学校総合体育大会	三木北高等学校女子 200m バタフライ（栗林）
------------	--------------------------

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（8名）
----	---------------------

平成 20 年度	
中学校総合体育大会	—

高等学校総合体育大会	三木北高等学校男子 200m 平泳ぎ（永森）：近畿大会第8位 三木北高等学校女子 200m バタフライ（栗林）：近畿大会第3位 三木北高等学校女子 400m 個人メドレー（栗林）：近畿大会第8位 三木北高等学校女子 400m リレー（山本・柳田・栗林・伊藤）
------------	--

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（6名）
----	---------------------

平成 21 年度	
中学校総合体育大会	三木中学校女子 200m 個人メドレー（岡田）：近畿大会第5位 三木中学校女子 400m 個人メドレー（岡田）：近畿大会第3位

高等学校総合体育大会	三木北高等学校女子 200m 背泳ぎ（川内） 三木北高等学校女子 200m バタフライ（栗林）：近畿大会第5位 三木北高等学校女子 400m 個人メドレー（栗林）：近畿大会第6位 三木北高等学校女子 400m リレー（川内・山本・栗林・伊藤）
------------	--

国民体育大会	三木北高等学校女子 200m バタフライ（栗林） 第8位入賞
日本選手権	三木北高等学校女子 200m バタフライ（栗林）
ジャパンオープン	三木北高等学校女子 200m バタフライ（栗林）

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（8名）
----	---------------------

平成 22 年度	
中学校総合体育大会	自由が丘中学校女子 100m 平泳ぎ（薬師） 自由が丘中学校女子 200m 平泳ぎ（薬師）

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（3名）
----	---------------------

平成 23 年度	
中学校総合体育大会	—

高等学校総合体育大会	—
------------	---

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（2名）
----	---------------------

平成 24 年度	
中学校総合体育大会	別所中学校女子 100m 平泳ぎ（近藤）：近畿大会第4位 別所中学校女子 200m 平泳ぎ（近藤）：近畿大会第3位

高等学校総合体育大会	—
------------	---

国民体育大会	三木北高等学校（薬師）女子メドレーリレーメンバー
--------	--------------------------

一般	全国ジュニアオリンピック出場者（2名）
----	---------------------

平成 25 年度	
中学校総合体育大会	—

高等学校総合体育大会	—
------------	---

国民体育大会	三木北高等学校（近藤）女子メドレーリレーメンバー
--------	--------------------------

日本選手権	女子 200m バタフライ（栗林）
-------	-------------------

平成 26 年度	
中学校総合体育大会	自由が丘中学校男子 400m メドレーリレー（縄井彪・薬師・縄井淳・桂）

高等学校総合体育大会	—
------------	---

日本選手権	女子 200m バタフライ（栗林）
-------	-------------------

これらの記録を見る限り、市内各中学校で活躍した選手が、市内高等学校へ進学し、活躍の場を広げていることがわかる。特に三木北高等学校において有力選手が力を発揮し、記録を向上させている。平成19年度は、中学校時代に全国中学を経験した選手が集結し、21年度まで3年連続でインターハイ出場を実現した。中でも栗林優子（三木中学校出）は、3年生時に国民体育大会選手に選考され、8位入賞を果たした。高等学校卒業以後も、大学から就職後の現在も競技生活を続け、全国規模の大会に出場している。三木北高等学校からは、平成24年度の薬師理穂（自由が丘中学校出）、平成25年度の近藤 和（別所中学校出）も、国民体育大会400mメドレーリレー兵庫県代表として選ばれている。また、大学生としてではあるが、山本麻利（緑が丘中学校出）も400mリレーの兵庫県代表として選ばれている。

ただしこれまで近畿大会での入賞は多くあるものの、全国レベルの大会の入賞はまだまだ少ないのが現状である。さらに平成22年度以降は、中学校、高等学校ともに上位大会への出場者が少なくなっている。これは少子化に伴い、水泳人口、水泳部所属人数が減りつつあることにも影響を受けていると思われる。ただ、本年度（26年度）、自由が丘中学校男子400mメドレーリレーチームが市内中学校チームとして8年ぶりに全国大会に出場し、さらに、県中学校総合体育大会への出場者も、17種目・入賞5種目と前年度より倍増しており、中学生の競技力の復活を感じた。これらの選手たちが、市内各高等学校への進学を希望し、さらなる飛躍を目指せるような体制作り、指導の連携をさらに深めていくことが重要であろう。

●これからの活動計画

競技人口の多さや各種大会の規模から、水泳協会の活動報告も、中学生、高校生中心になっている。しかし、水泳全体のことを考えるとき、協会として力を入れていかなければならないのは、小学生などの底辺の拡大、また成年壮年層の水泳人口の拡大を図ることである。

特に成年壮年層からの市民大会への参加が少なくなっている。このことについて、水泳協会としてどう対応していくのか、成年壮年層が参加しやすい大会にするためには何が必要かを考えていかなければならない。健康維持を目的とする方々も含めて、水泳への関心を深め、水泳することの楽しさを伝える大会のあり方を考えることが必要な時期に来ていると感じている。

小学生等の底辺拡大については、スイミングスクール等との関係もあるが、今までどおり、スポーツ少年団の活動を中心に、基本から競技技術の向上への指導を重ねていきたい。指導者同士の交流、連携を図り、指導力向上の研修を計画するなど、三木市の水泳の競技力向上に貢献していくような各種大会、強化練習会等の活動を維持、充実させていきたい。

（文 三木市水泳協会 会長 天野文利）



三木市民大会（開会式）



三木市民大会（競技風景）



三木市民大会（表彰式）

三木サッカー協会

〔設立年度〕 1971年

〔事務局〕 横田浩一

〔加盟会員数〕（団体数） 35チーム

〔現役員〕 会 長 岸本 博介

副 会 長 小林 誠二

理 事 長 横田 浩一

副理事長 小紫 達矢

古谷 昭文 河月 義朗

1 三木サッカー協会の組織と活動

三木サッカー協会は、1種（社会人）から5種（女子）まで各カテゴリーの35チームが所属している。部活動やクラブチームでそれぞれのカテゴリーの大会で熱心に活動し、好成績を収めている。設立当初は各学校のグラウンドと現市役所の場所にあった市民グラウンドが主な活動拠点であった。その後、三木山総合公園や三木総合防災公園が建設され、サッカーの環境が整ってきた。近年の所属チームの好成績もこのようなサッカー環境の充実が一因であろう。

2 近年の顕著な出来事

体育協会50周年の後、目覚しい成績を収めた大会も数多くあったが、特に、2006年の兵庫国体サッカー競技（少年）の開催とFC三木ヴィク

トリーズの長谷川（旧姓 吉岡）圭 選手の年代別ワールドカップの出場、全国大会4位が大きな出来事であった。

(1) 兵庫国体サッカー競技（少年）の開催

2006年のじぎく兵庫国体サッカー競技少年男子の部は、1・2回戦を淡路佐野運動公園・五色アスパで行われ、準々決勝以降を三木総合防災公園陸上競技場及び球技場で行われた。

兵庫県選抜チームの競技は、2回戦からの登場となった。淡路での2回戦では岩手選抜を破り、ベスト8のチームとして三木総合防災公園に凱旋することができた。準々決勝では、三木市出身の井上太志選手をはじめ、チームワーク



静岡戦の先発メンバー
前列中央（9番）が
三木市出身の井上太志選手

の良さを生かして静岡選抜を相手に接戦、PK戦を制して、準決勝に進出を果たした。

準決勝では、残念ながら千葉選抜に敗れはしたものの、3位決定戦で石川選抜を4-3で退け、3位入賞を果たし、兵庫県の天皇杯獲得に貢献することができた。

三木サッカー協会の会員は、この競技の運営でそれぞれの役割を果たしたが、その目の前で兵庫県の活躍には感慨深いものがあった。

兵庫県選抜メンバー

- | | |
|---------|-------------|
| ① 浅野伸吾 | (滝川第二高) |
| ② 武田惇志 | (V神戸ユース) |
| ③ 畑 共哉 | (C大阪ユース) |
| ④ 谷尾一樹 | (V神戸ユース) |
| ⑤ 高島健人 | (V神戸ユース) |
| ⑥ 米本拓司 | (県伊丹高) |
| ⑦ 岡本大輝 | (滝川第二高) |
| ⑧ 山内一樹 | (関西学院高) |
| ⑨ 井上太志 | (滝川第二高)三木出身 |
| ⑩ 辻 智人 | (V神戸ユース) |
| ⑪ 吉澤春風 | (滝川第二高) |
| ⑫ 増本圭介 | (神戸国際大附高) |
| ⑬ 飯尾竜太郎 | (V神戸ユース) |
| ⑭ 中村柁名 | (V神戸ユース) |
| ⑮ 平川直人 | (兵庫FC)中3 |
| ⑯ 小林正和 | (V神戸ユース) |

(2) 年代別ワールドカップの出場・全国大会4位

FCヴィクトリーズは、1999年に「三木VICTORIES」として創部された中学生以上の女子チームである。2014年現在まで関西1部でリーグを戦っている。

2008年には所属選手の「長谷川 圭(旧姓:吉岡)」がU-17日本代表に選出されニュージーランドワールドカップ参加、アメリカ戦で決勝ゴールを挙げる活躍をした。

また、2009年度には、単独チームで初めて全国大会を経験する。福島県のJヴィレッジでの全日本女子ユースU-15サッカー選手権だった。全国大会も大阪堺のJ-GREENへ変更と

なり、近年では2013年には全日本女子ユースU-15、全日本女子ユースU-22大会に出場し、U-22大会では全国4位という成績を収めた。今年度の2014年には2年連続で全日本女子ユースU-15、全日本女子ユースU-18の大会に出場した。



ワールドカップでの長谷川選手(右)



全国大会に出場したヴィクトリーズの選手

3 三木サッカー協会の今後に向けて

1993年にJリーグが発足し、日本代表がワールドカップに出場するようになり、サッカーがマスメディアで取り上げられることが当たり前になった。一時期、本協会の傘下のチームもそのチームに所属する選手が大変多いことがあった。しかし、少子化の影響もあり、近年所属チーム数、所属選手とも減少の傾向にある。

各大会での好成績を目指すことと同時に社会人の生涯スポーツ、青少年の健全育成を目指し、協会としてサッカーの魅力を更にアピールしていきたい。

三木バドミントン協会

〔設立年度〕昭和52年

〔事務局〕三木市緑が丘町中2丁目1-14 エムアイスポーツ内

〔会員数〕150人

〔現役員〕会 長 高井 孝行

副 会 長 中西 久昌 今井 信夫 梅田 秀二

理 事 長 高井 雅也

副理事長 八木 秀子

広報渉外 藤田 敏行

会 計 藤原 仁美

書 記 松澤 和子

理 事 津賀尾雄一 東澤 和昭 前田八重子

奥野 尚子 野口 晶子 岩崎真佐子

田尻美登里 中畑 尚子 吉岡 哲記

高垣 達洋

三木市体育協会設立60周年のお祝いを申し上げます。

三木バドミントン協会の歩み

●協会の歴史

三木バドミントン協会（以下「協会」という。）は、昭和52年1月に三木市勤労青少年ホーム、三木東高校、三木クラブ、三木市役所の4バドミントンクラブの会員約30人で設立されて以来、平成26年で37年目を迎えている。

協会の初代会長には三木東高校バドミントン部顧問教諭の玉木芳弘氏が就任。

この年に会長杯争奪戦と市民大会個人戦を開始。同時にバドミントン競技の普及と愛好者の拡大を図るため、女性対象の教室を実施した。その結果、翌年に初の婦人クラブが誕生するのである。

昭和53年に三木市体育協会に加盟。バドミ

トン競技が三木市で定着する礎となった。

また、女性に続き青少年と一般男性を対象とした教室を実施したことにより、愛好者が一気に増えるきっかけとなった。

昭和56年に高井孝行氏（現会長）が第二代会長に就任し、三木オープン大会を開始。

その後、婦人クラブが多数誕生し協会に加盟したことにより、協会の傘下組織として家庭婦人連盟（現レディース連盟）が発足し、三木レディースオープン大会（現在は開催していない）や三木市レディース大会（現在は年3回開催している）をスタートさせた。

その他、昭和62年から市民大会としてクラブ対抗団体戦を、平成20年からクラブの枠を超えた交流団体戦を開始した。また、実力区分のほか年齢区分で対戦する個人戦や県内各地の小学生選手を招待したジュニア大会なども開催した。

そして、10周年ごとの記念事業として、昭和

62年に協会設立10周年、平成9年に20周年、平成19年に30周年を迎え、それぞれ記念式典や記念行事の開催とともに記念誌の発行、オリジナル記念品の配布などを行った。(写真)



協会設立 30 周年（平成 19 年 5 月）

●協会の組織

協会員は、三木市内及び近隣の市町で活動する中学生以上のバドミントン愛好者としている。

加盟クラブは、成人男女のバドミントンクラブと高校のバドミントン部などで、近年では15前後のクラブ、150～200人の会員が協会に登録している。

組織は、会長、副会長、理事長、副理事長兼レディース連盟部長、広報・渉外、会計、監査、書記で構成する本部とともに、加盟クラブの代表者等で構成する理事会、会長推薦者で構成する事務局、女性クラブで構成するレディース連盟からなり、加盟クラブに所属する会員が協会員となっている。

●現在の活動状況

会議は、総会のほか、理事会、事務局会、レディース連盟代表者会などを定期的に開催し、大会内容の検討や大会に向けた準備とともに大会終了後の反省会等を行っている。

主催大会は、会長杯争奪戦、市民大会個人戦、市民大会クラブ対抗団体戦、市民大会交流団体戦、三木オープン大会、レディース大会個人戦、レディース大会団体戦、三木市少年スポーツ大会

のバドミントン競技会などとなっている。

中でも三木オープン大会は、県内はもとより他府県からもエントリーがあり、その参加者数の多さとレベルの高さで県下有数の大会に成長している。ちなみに、試合は2日間、3体育館を利用し、5種目（男子単・女子単・男子複・女子複・混合複）で、それぞれでランクを1～3部に分けて実施しており、近年では350～400人が参加している。

一方、市外や県レベルの大会参加は、協会員で選手を選抜して出場する東播10市町対抗戦、県協会登録者による県社会人大会や県民大会、県総合選手権大会などと、それらを予選とする近畿大会や全国大会のほか、県内各市町協会が実施するオープン大会などに数多くの協会員が出場し好成績を残している。

特筆すべき成績としては、シニアの全国大会や社会人クラブの全国大会において市内から4人の全国チャンピオンを輩出していることである。

一人は協会副会長の中西久昌氏で、単7回・複2回の日本一を、また、協会理事長の高井雅也氏も単4回・複3回の日本一を、そして澄川稔子氏も単で5回の日本一を達成している。

また、小学生時代から活躍する水池綾加氏は、平成18年の兵庫国体において少年女子の部で第3位に、そして、平成26年度の全国社会人クラブ選手権大会で初の日本一に輝いている。

各人の実力からして、今後もこの勢いは続きそうである上、次世代の若手も育っており、大いに期待している。

なお、協会主催の大会日程は、5月の総会と同日に開催する会長杯争奪戦が最初で、当日にクジでペアを決めて試合を行うことにより、クラブの枠を超えた協会員同士の交流の場となっている。そして、昼食休憩時を利用して行う総会では、新役員の紹介などとともにバドミントン用品が当たるお楽しみ抽選会をアトラクションとして行っている。そのため毎年、協会員のほぼ全員が参加している。(写真)

その後、6月に1回目のレディース大会、7月にクラブ対抗団体戦、9月に2回目のレディース大会、10月に三木オープン大会、11月に少年スポーツ大会、12月に市民大会個人戦と技術講習会、2月に市民大会交流団体戦と3回目のレディース大会を行うなど、年間を通じて各種の大会を開催している。



バドミントン協会総会（平成22年5月）

●選手の強化とジュニアの育成

選手の強化と育成は、協会員を対象に世界及び日本のトップ選手や実業団チームを招いての技術講習会・強化練習会とともに、小・中・高校生などのジュニア選手を対象とした練習会などを開催している。

過去には、元中国代表チームで世界一になった丁其慶さん（現氏名は中島慶さんで日本代表チームのコーチ）や元全日本チャンピオンの北田スミ子さんのほか、トリッキーパンダースといった日本リーグの現役選手やその指導者、また、県内の大学で指導している鵜木（いかるぎ）さん夫妻など、近隣の著名な選手と指導者を招いている。

最近では、平成23年度に実業団チームの大和製衡バドミントン部を、平成25年度には日本リーグの三菱電機バドミントン部を招いて実施し、多くの協会員が参加した。（写真）

一方、ジュニア選手の育成も協会の活動の重要な柱と位置づけており、三木ジュニアバドミントンクラブの代表者及び指導者として、姥浩二氏、中西久昌氏、藤田敏行氏、松澤和子氏、岡本慶子氏、西垣英行氏、高井雅也氏、中川慶司氏などの協会員が、平成3年のクラブ発足当初から現在に至るまで指導体制を引き継いでいる。

最近では、小学生の県大会をはじめ近畿大会や全国大会にも三木市から多くのジュニア選手が出場し、今や全国大会でも上位入賞するなど、着実に育成と強化の成果が表れている。



三菱電機バドミントンチームによる技術講習会（平成25年12月）

●東日本大震災への募金活動

協会の平成25年度の大きな取組として、東日本大震災からの復興への祈りと被災地におけるバドミントン愛好者の競技継続への願いを込めて、大会ごとに募金箱を設置して選手個人からの善意を募るとともに、各大会参加料の10%相当額を積み立て、その合計額10万円を宮城県南三陸町のバドミントン団体に活動の一助になるよう送金した。

これをきっかけにして今後、三木市と南三陸町のバドミントン愛好者相互の交流が進展すればと大いに期待している。

●将来への展望

協会としては、あらゆる年齢層のバドミントン愛好者を拡大することが競技力向上に繋がり、その結果、全国大会をはじめとする大きな大会で活躍する協会員が増えるものと確信している。

そのためには、市内のスポーツクラブや公民館、または小学校などにおいて、バドミントン教室を開催し競技人口をいっそう増加させるとともに、小学校・中学校（バドミントン部無し）・高校・大学などとも連携を取り、技術指導のほかにも年齢や階層ごとの大会を開催することによってレベルアップを図り、また、クラブ運営においても協力関係を築いていくことにより、ジュニア世代の強化をさらに進めることが協会の大きな目的であり課題であると考えている。

その結果として、あらゆる年齢層で競技力が向上し、どの年代からも全国大会はもとより、ひいてはオリンピックを目指す協会員が育つことを願っている。

このように、バドミントン競技がますます発展するために、協会は普及と強化、そしてソフトとハードの両面から最大限の努力を続けていく覚悟である。

文:三木バドミントン協会広報 藤田敏行

三木市ソフトボール協会

〔設立年度〕昭和53年4月1日

〔事務局〕三木市宿原1263-118（富田方）

〔加盟会員数〕三木市ソフトボール協会登録 4チーム
三木市立中学校体育連盟登録 3チーム
150名

〔現役員〕会 長 富 田 進

副 会 長 黒田 俊夫 河本 清次

理 事 長 金井 暢晃

副理事長 岩崎 鉄也 栗田 光雄

審 判 長 黒田 俊夫

記 録 長 永尾津世士

会 計 三原 吉勝

監 査 石田 尚平

事 務 局 富田 有統

理 事 神澤 孝蔵 佐藤 亮 神吉 達也

大西 鉄也 吉本 恵



（2014・2015年度）三木市ソフトボール協会役員

はじめに

祝 三木市体育協会創立60周年記念をお祝い
申し上げます。

長い歴史のなか、37年に亘りソフトボール協

会へのご支援、ご協力を賜りましたことに深い感謝とお礼を申し上げます。

三木市ソフトボール協会は昭和53年4月に設立され三木市体育協会に加盟するとともに県協会に登録しました。

三木市のソフトボール競技の普及及び振興・会員相互の親睦・交流を図り併せて三木市のスポーツ界の発展に寄与することを目的としました。

その目的を達成するため三木市におけるソフトボール競技の各種大会及び会合の主催・主管・後援と各種ソフトボール競技大会への三木市代表チームの選手及び役員の派遣、またソフトボール競技規則の研究及び徹底、競技向上に関する研究指導に取り組んできました。

今日までのあゆみ

振り返れば当協会設立当初は加盟チームは十数チームと多く、反面使用グラウンドは少なく確保に苦慮し市内の各小学校庭や企業のグラウンドを借りていました。

年一回行われる三木市民ソフトボール大会も三木高校のグラウンドを借りて4コート会場に30余チームが参加し、開会式の行進曲に合わせて入場行進し、大会を盛りあげました。

やがて三木市行政で新しくグラウンドの整備と管理が進められ、お陰でグラウンド確保が楽になりました。

しかし時代の流れと共に協会加盟チームも少しずつ減っていき、特に若年層のチームや入部に期待できなくなり、チームの存続が難しくなっていました。

ここ10年の間に若い2チームが新しく加盟しましたが、長く続かず廃部となりました。

少子・高齢化、スポーツ競技種目の多様化、メンバーの価値観や趣味の変化が考えられます。

平成22年（2010）秋の或る日三木市協会会長へ滝川高校ソフトボール部経験者を中心とした若さ溢れるチームから協会加盟の申入れがありました。

協会で加盟条件の照会と理事会を開催し協議の結果、今後協会発展の意義が大きいと加盟を承認しました。そして翌平成23年（2011）4月に登録し加盟しました。しかし条件として一年間は三木市内大会の参加とし、三木市の大会代表として県大会への出場は平成24年（2012）4月の県協会への登録から実施されました。

チーム名は「三木S C」で選手の平均年齢は28才です。

現在三木市では緑が丘、自由が丘、吉川、別所その他の地区では同好会的なチームがあり、地区ごとの大会に参加してプレーや活動を楽しむことを主体にしている団体もあります。

三木市協会では現在次の4チームが活動しています。

①前田倶楽部 ②栄町倶楽部

③Ocean ④三木S C

若い三木S Cチームを除くと選手の平均年齢は46才ですが何れも伝統のある長い歴史を持つチームで全員が支部大会を通して上を目指し、澁らつとしたプレーと活動が目を引きまします。

そこに若い新しい「三木S C」チームが加わったのです。

今三木S Cは三木市協会を代表して兵庫県大会出場の常勝チームとして平成25年（2013）には、近畿大会出場を果たしました。また協会内では他チームの大きな刺激となってスピードあるプレーとその技術のお手本として協会の活性化に大いに貢献しています。

協会として大変喜ばしいことで感謝しているところです。

今後は更に新チームが加入されることに期待し、協会に加入して良かったと思われる魅力ある三木市ソフトボール協会を目指したい。

そのほか、三木市では平成元年（1989）4月に創部された26年の歴史と伝統を誇る唯一の一般女子チーム「三木クイーンズ」が健在で次のような大会に臨み優勝を重ねています。

○三木市民ソフトボール大会（5月）

○西神三木家庭婦人ソフトボール大会

（春季大会5月）（秋季大会10月）

○高砂市協会主催大会

（理事長杯）（市長杯）（市民大会）（協会長杯）

また三木市ソフトボール協会登録で三木市立中学校体育連盟のソフトボール部をもつ学校が現在市内8校中次の3校です。

①自由が丘中学校 ②三木東中学校

③緑が丘中学校

毎年2月の兵庫県大会（播但大会）の三木予選や、6月の三木市総合体育大会（優勝チームは7月の東播大会に出場します）があります。

また9月には新人戦の大会が行われます。

平成25年度（2013）には自由が丘中学校グラウンドで三木市協会主催による、市内中学校対象のソフトボールクリニック「技術講習会」を実施しました。

また、平成18年（2006）から現在において緑が丘中学校ソフトボール部（この間併用して自由が丘中学校にも2年間）への外部指導員として、顧問の先生の補助に三木市協会の富田会長が県及び三木市教育委員会を通して派遣されています。

その他、中学校の大会の球審や、毎年5月末に行われる三木市防災記念野球場での兵庫県障がい者スポーツ大会（ソフトボール部門）にも三木市協会からコートの準備や審判員にスタッフを派遣しています。

活動状況

三木市ソフトボール協会では過去10年を振り返れば毎年下記のような諸大会を開催し実施してきました。

平成26年度（2014）は次のとおり。

		(月/日)
1	第60回 総合男子大会（三木予選）	4/6
2	第67回 県民成年男子大会（三木予選）	4/13
3	第65回 全日本総合女子大会（兵庫県大会）	5/18
4	第37回 三木市民ソフトボール大会 (三木市体育協会60周年記念) ファストピッチの部 スローピッチの部 中壮年地域の部 一般女子の部	5/31
5	第23回 兵庫県知事杯大会（三木予選）	6/22
6	第11回 一般男子大会（三木予選）	7/13
7	第56回 兵庫県都市対抗大会（三木予選）	9/7
8	第35回 全日本クラブ男子大会（三木予選）	9/21
9	第9回 北播磨地区交流大会（北播大会）	11/9
10	第56回 兵庫県議長杯大会（三木予選）	11/30

このほか毎年兵庫県ソフトボール協会主催（三木市ソフトボール協会主管）の兵庫県大会を三木グリーンパーク又は緑が丘スポーツ公園で開催しています。

兵庫県ソフトボール協会主催（三木市ソフトボール協会主管）の大会

平成17年（2005） 兼 全日本総合女子大会	平成18年（2006） 全日本クラブ女子大会	平成19年（2007） 県協会長旗争奪大会	平成20年（2008） 県小学生男女大会
平成21年（2009） 県民青年男子大会	平成22年（2010） 県都市対抗大会	平成23年（2011） マスターズ男子大会	平成24年（2012） 県民青年男子大会
平成25年（2013） 県レディース大会	平成26年（2014） 全日本総合女子大会	平成27年（2015） 一般男子大会	平成28年（2016） 県民青年女子大会



(2014・5・31) 三木市民ソフトボール大会（三木市体育協会60周年記念）（三木グリーンパークにて）



(2014・5・18) 全日本総合女子チームの表彰(緑が丘スポーツ公園にて)

近年日本国内ではソフトボールや野球種目のオリンピックへの参加に大きな期待が寄せられています。

かつてアテネや北京大会で大きな成果をあげた

ソフトボール種目も平成24年(2012)のロンドン大会や来年平成28年(2016)のリオデジャネイロ大会の開催は中止されました。

奇しくも1昨年平成25年(2013)リオで2020年の夏季オリンピック開催国を決める会議があり、56年振りで日本の東京が決定されました。また同時に数種目の追加も承認されました。

従って、待望のソフトボールや野球種目については平成29年(2017)のI O C会議では参加が認められるのではないかとわれています。

もし東京オリンピックにソフトボール種目が採用されたら、関係者は勿論のこと全国の愛好者を初め地域、学校、企業の更なる普及拡大に拍車がかかり、またソフトボールブームに火が灯くのではないのでしょうか。(文責 富田 進)

2014 年 秋季



三木クイーンズチーム主力メンバー



自由が丘中学校ソフトボール部



三木東中学校ソフトボール部



緑が丘中学校ソフトボール部

三木市テニス協会

〔設立年度〕昭和52年9月

〔事務所〕エムアイスポーツ 三木市緑が丘町中2丁目1-14
電話85-0567

〔現役員〕名誉会長 永尾 隆保

会 長 堀江 賢三

理 事 長 大久保 茂

副理事長 松尾 佳高 橋本 浩 中川 圭太

北住 佳奈

会計理事 長野 正勝

監査理事 福間 俊史

三木市体育協会60周年記念誌発行を祝して

三木市テニス協会

理事長 大久保 茂

三木市体育協会が60周年という節目の年を迎えられ、その歩みと輝かしい歴史を綴る記念誌が発行されることを、心からお祝い申し上げます。

昭和52年9月に三木市テニス協会発足、三木市民の健康増進とテニスの普及発展ならびに協会会員の親睦をはかることを目的として発足しました。

協会の活動として春季の市民大会、秋季の市民大会、春と秋の三木オープン大会、団体戦、秋の初心者大会、春と秋のテニス教室などです。



テニスの環境は、三木山総合公園テニスコート8面、緑が丘スポーツ公園テニスコート8面、吉川総合公園テニスコート16面あり合計市民コートは32面あります。又、平成19年には三木総合防災公園に世界基準のブルボンビーンズドーム（ドーム内9面）（屋外4面）があります。

近年、平成20年9月23日「テニスの日」のイベントを三木山総合公園テニスコートで行いました。

平成22年4月三木市テニス協会30周年、記念誌を発行しました。

ブルボンビーンズドームテニスコートでは、国別対抗試合のフェドカップ&デビスカップの開催で、錦織 圭選手など一流選手が身近に観戦できました。又、車椅子テニスの国際大会級も行われ、国枝 慎吾選手、上地 結衣選手などが身近でプレーを観戦できました。

近年、テニス日本リーグの開催で、日本の一流選手が身近で観戦できました。三木市は本当に一流テニス選手を拝観出来る町です。

平成25年の三木オープンダブルス大会を、ブ

ルボンビーンズドームテニスコートで行いました。

平成26年9月23日「テニスの日」イベントをブルボンビーンズドームテニスコートで行いました。派遣にプロ久見 香奈選手を招き、参加者146人 イベントスタッフのボランティア28人でテニスの普及に努めました。



平成26年は錦織 圭選手の活躍により日本はテニスブーム再来かというところですが、マクロの目で見るとテニス人口は減少したままのようです。子供への指導、PLAY+STAYで底上げ図ると同時に、指導者の養成も図っています。

三木市テニス協会では、子供たちにテニスを、教えています。



三木市テニス協会は普及、強化の発展に努力をしてきました。

テニスは子供から高年齢まで出来るスポーツで

す。又、テニスをする環境は最高に恵まれています。生涯スポーツテニスを!始めよう!続けよう!もっとテニスを!!

三木市バスケットボール協会

〔設立年度〕昭和60年（1985年）4月

〔現役員〕顧問 藤原 千秋

会 長 井上 薫

副 会 長 西山 利幸 金井 清

理 事 長 岸本 亮式

副理事長 嘉納 綱彦 益田 俊幸 吉田 文雄

事務局長 岡本 俊宏

会 計 石田 英之 吉本 ルミ 山本 愛

監 査 富依多雅藏 芝本 拓

理 事 宮平 満次 藤原 守人 大坪 良一

井上 真吾 藤井 克成 小林 義直

八木千賀子 堀 雅宏 本岡 忠明

奥 豊 袖岡 厚嗣 袖岡としみ

岩谷たか子 宮倉 未沙 小西 孝文

岸本 昭人 藤井 達夫 池田 泰英

岸本 早苗 安田 法子

1 三木市・吉川町の合併

この10年間の本協会のもっとも大きな出来事は、三木市と吉川町の合併に伴う協会の合併である。

市の合併の調印前には、両協会ではすでに当時の藤原会長および吉川町西山会長をはじめとする役員により協議が始められ、協会の一本化にいち早く動きだした。その結果、大変スムーズに両協会の統合も行われ、平成18年度から新しい役員構成で本協会はスタートした。

また、三木市および吉川町で実施されていた大会はそれぞれ特色をもっており、現在もそれを継続して開催している。平成18年2月には、合併記念大会として21回市民大会を開催した。

協会の統合に伴い、ミニバスケットボールについても、平成18年に新たに「三木市ミニバスケット

ボール連盟」を立ち上げ、市内では3クラブが熱心な指導者のもと活動している。

平成23年に本協会の創立者である藤原千秋会長（現顧問）が退任した。藤原氏は三木市ミバスケットボール教室を設立し、三木市のバスケットボールに関する様々な活動を主導されその発展に大きな足跡を残した。後任として井上薫会長が就任した。

2 10年間の主な活動

高校生以上の選手の参加する大会として、『三木市民大会』および『さざんか杯』を実施している。

本年、『市民大会』は第30回を迎え、『さざんか杯』は第26回を開催した。

『市民大会』は、主に市内で活動や練習をして

いるチームで、市内の中学校・高校の卒業生、または市内勤務者のチームであることなどの条件を設けて毎年開催している。ここ数年は男子11～12チーム、女子5～6チームが参加し、熱戦を繰り広げている。この10年間で、男子のべ137チーム、女子のべ74チームが参加している。さまざまな方のご尽力により本年、第30回記念大会を開催できた。しかし、バスケットボールに取り組む若い層の減少、会場や参加条件、開催日などのさまざまな課題があり、年々参加チームが減少している。そのため参加チーム増加が今後の課題である。

一方『さざんか杯』は、吉川町協会で開催されていた大会であるが、市民大会とは異なり、近隣の市町のチームの参加を認めているオープンの大会である。合併後も継続してこの大会を開催し、他市町で活動するチームと三木市で活動するチームとの交流を行う絶好の機会となっている。他市町からの参加希望もあるが、会場や日程の関係で男女合わせて最大26チームの出場が条件であるためお断りすることもある。

本年第26回を開催でき、この10年間で、男子のべ143チーム、女子のべ86チームが出場している。



平成 26 年度市民大会 男子決勝戦の様様。

1) 3on3大会

吉川町で従来開催していた真夏の屋外でおこなう『3on3大会』も継続して実施し、本年第

17回を開催した。また合併前の三木市においても協会設立10周年を記念して平成7年に第1回を開催し、継続して実施している。

どちらも男女混合のチームやファミリーのチーム等出場可能で、和気あいあいの雰囲気の中ゲームは行われている。

2) 中学生・高校生の競技

中学生の新チームによる大会を『さざんか杯』と銘打って、毎年夏休みに開催している。この大会は本夏第23回を開催。毎年、他市のチームを招待して、できるだけ多くのチームと試合ができるよう変則的ではあるが工夫をこらして実施している。

『三木市親善バスケットボール優勝大会（三木市会長杯）』も夏休みに中高生の新チームで開催している。本年度で44回を迎えた。中学生と高校生が同じ会場で試合を行い、相互の交流と、中学生にとっては高校生のプレーを見る良い機会となっている。

3) 中学生の育成

中学生の育成を目指して、新チームになったばかりの1,2年生対象に「技術講習会」を実施している。本年度第6回を開催した。昨年より兵庫県のプロチームの「兵庫ストークス」の選手を講師として招聘し、中学生の技術向上、特に基本技術の習得に向けた取り組みを続けている。県内のプロとして活躍している若い選手からの指導を受けることで、中学生は大変熱心に講習を受け、レベルアップに努力している。



平成 26 年 8 月 中学生対象 技術講習会の様様

なお、三木東中学校出身の岩橋斉明選手が本年度全国高等学校選抜大会兵庫県予選で優勝した報徳学園高等学校のレギュラーとして活躍し、全国大会に出場した。このことはバスケットボールに取り組む小中学生にとって大きな目標であり、励みでもある。岩橋選手のさらなる活躍を期待するものである。

4) クラブチームの活躍

三木市のクラブチーム「三木クラブシニアチーム」のこの10年間の活躍は目覚ましいものがある。平成20年度には第16回兵庫県クラブバスケットボール連盟会長杯シニア大会（出場資格40歳以上）で優勝するという輝かしい成績を残し、その年には『日本スポーツマスターズ バスケットボール競技』に県代表として出場し全国ベスト16に輝いた。以後、この『全国マスターズ』には兵庫県バスケットボール協会の推薦を受け、今年を含め7年連続出場している。チームは三木市協会設立当時に結成し、普段は若い人からベテランと一緒に練習している。ベテランが長くプレーし、若い人たちを引っ張って行っているのが現状である。若い年齢層のプレーヤーの加入がチームの今後の課題である。

また、これらのベテランの中には地域の児童にミニバスケットボールを指導する人もあり、地域スポーツおよび青少年健全育成にも貢献している。

5) ミニバスケットボール教室（クラブ）

市内には、「三木市」、「ウイズ緑が丘」、「吉川」の3つのミニバスケットボールクラブがあり、それぞれ男女のチームが活動している。

地域のバスケットボール経験者、保護者、卒業生などが指導に当たっている。

その中でもっとも長い歴史を持つチームが「三木市ミニバスケットボール教室」である。本年31年目を迎え、多くの卒業生を輩出し、底辺の拡大に努めて来た。本年、青少年の健全

育成に多大な貢献をしたとして、「市制60周年記念」において三木市より感謝状を授与された。

週に1、2回の練習では良い成績を収めることは難しいが、三木市ミニバスケットボール教室は、平成24年『スポーツクラブ21ひょうご ミニバスケットボール交流大会』において、女子チームが準優勝、男子チームが3位になるという好成績を収めた。また、平成25年2月、新チームを対象に開催された『東播磨ミニバスケットボール新人大会』において、女子チームが準優勝を果たした。

これらは、市内のチームの目標となり大きな励みとなっている。

指導者はチームワークやルール・マナーを守ることの大切さを第一に指導し、青少年の健全育成に大きな役割を果たしている。



平成26年度三木市少年スポーツ大会女子の試合

6) 今後の展望

平成29年に三木市総合体育館が完成すれば、一会場での大会の開催が可能となる。多くのチームの参加する『さざんか杯』『市民大会』の実施、そしてミニバス、中学・高校の大きな大会も三木市で開催できれば、それを契機に小・中・高校生のレベルアップにつながる。

また、日本リーグやナショナル・バスケットボールリーグの「兵庫ストークス」の試合も三木市で観戦できることを願っている。

三木市ゲートボール協会

〔設立年度〕昭和59年4月1日

〔事務局〕三木市細川町細川中713 中井方

〔加盟会員数〕90名

〔現役員〕会 長 則宗 義雄

副会長（指導部長）宮原 一生

事務局長 中井 泰之

会 計（事務局補佐）岡田 幸三

監 事 久米 唯穀 古家 郁雄

理 事（副指導部長）大搗 信男 岡田 幸三

橋本智恵子 中井 泰之 岡田 務

桃塚 正 中井 栄二 宮原 一生

● 創設期からのあゆみ

三木市ゲートボール協会は、当初三木市民ゲートボール協会として昭和59年4月1日に発足した。

当時ゲートボールは、各地区の愛好者により老人のスポーツとして行われていたが、兵庫県ゲートボール連合が行う、県審判員制度を知り地区リーダーの方々が、受験合格のうえ県公認審判員となり、三木市民ゲートボール協会として、県連合に加盟した。

初代会長は、当時三木市老人会連合会会長の宮脇初治氏が就任、以降4代の会長が献身的に協会の発展のため努力された。

平成12年4月には三木市ゲートボール協会と改名し今日に至っている。現在は、近隣市町との親善交流ゲートボール大会も例年盛んに開催され、当協会からも3～5チームが参加している。また、今年度は11月に三木市体育協会60周年記念ゲートボール大会を開催した。

● 将来への展望

会員の高齢化と協会への入会員が減少している現在、少しでもゲートボールを楽しむ仲間づくり環境をつくり、ジュニアの育成と初心者の交流会等、会員増を図り、ゲートボールを通じ、生涯スポーツの良さを知っていただくべく啓蒙すると共に会員の技能向上に努め、県外・全国大会に選抜として参加できるよう努力したい考えである。



兵庫県民親善ゲートボール大会

三木市弓道協会

〔設立年度〕平成13年4月1日

〔事務局〕三木市緑が丘町中1丁目23-9（西本建男）

〔加盟会員数〕（団体数）155名（6団体）

〔現役員〕顧問 加藤 克一 船原順三郎

名誉会長 佐々木順次

会長 二ノ方鉄夫

副会長 西本 建男

理事長 桑村 博喜

理事 東 禮子

片山 芳明

津村 政夫

藤本 勝弘

会計 泉 和明

監事 熊木 孝雄

石井 公世

小吹 守

富永 耕司

堀井 弘幸

今津 初美

関 肇

橋本 佳子

山崎 文隆

●50周年以降の主な活動のようす

「体協50周年記念」時（平成17年）は当協会設立からちょうど4年目であり、年々会員数も増え、活動も活発になりつつありました。当初は主に競技中心の弓であり、積極的に市外の大会にも出ていき試合を楽しんでいました。しかし、他道場で交流を重ねるうち自分達の射術、体配（立居振る舞い）とレベルの違いを感じるようになり、競技の面白さとは別に的中だけの弓から質の高い一射を目指す弓へと変化していきました。

段位を上げていくのも稽古の励みであり、積極的に審査を受けるようになりました。今では、ほとんどの会員が毎年段位を上げています。当協会の母体である三木弓道会からは、この10年間で称号者が6人誕生しました。

競技会では別掲のように、県、神戸、明石、その他の大会で大いに活躍しています。

この間、大きな出来事としては「三木市弓道場建屋完成」があります。

平成13年の弓道場開場時、射場は野立ちの青空道場でした。真夏の炎天下、真冬の寒稽古、雨が降れば競技は中断、等々、、、過酷でした。市に弓道場建屋の建設を度々要望しましたが、土地が市街地調整区域であり建設は無理との事。その後、市側の努力で諸々の問題が解決され、屋根だ



「三木市弓道場建屋完成」記念祝賀射会

けではあるが、平成24年9月11日 建屋完成の運びとなりました。同年12月23日 三木市長、教育長、他道場の道場長を来賓に迎え、70余名の弓人の参加により盛大な「記念祝賀射会」を開催しました。

今までとは雲泥の差。炎天下、雨風を気にせず伸び伸びと稽古の出来る事が夢のようです。

これからはもっと質の高い稽古が出来ると会員一同張り切っています。

●我が協会のPR

50年史でも述べましたように、平成13年、数人の弓道愛好家が主体となり発足した当協会も今では中学生から熟年者まで、老若男女、様々な年齢層で弓を楽しんでいます。

しかし、弓道（武道）は修練の場でもあります。身体を鍛錬し、射技と作法を習得し、自分を律する事で強い精神を養い、人格の向上を目指しています。

1. 年7回協会主催の射会、対外試合での腕試し等で競技を楽しんでいます。
2. また、上達する上での指標として、積極的に昇段審査を受けています。
3. 年数回の懇親会、年1回秋の強化合宿等で、大いに語り合い親睦を高めています。
4. 弓道普及の為に毎年1回初心者弓道教室を開き、新しい愛好者を育てています。



（初射会 平成26年1月3日）



（初心者弓道教室 平成26年4月）

●これからの活動計画

年間行事としては、定例射会、講習会、初心者教室です。

〈定例射会〉

射会は日頃の練習の成果を為す場です。競技での中を楽しむと同時に精神を鍛えます。

日頃会えない人達が一同に集い、弓を引き、語り合い、会員相合の親睦を計ります。

〈講習会〉

講習会は射法射技の習得と体配（立居振る舞い）のレベルを高める事を目的としており、射品射格の向上を目指しています。

〈初心者教室〉

初心者教室では武道への憧れ、弓に対する興味、袴の格好よさ、礼儀作法の勉強等で多数受講されますが、見るとやるとでは大違いらしく受講後長続きしません。

本当の弓の面白さがわかるまで根気よく指導し、愛好者を増やします。

- ★ 11月16日の「三木オープン」は色的での点数制の競技です。「体協創立60周年記念大会」として、大いに盛り上げたいと思っています。
- ★ 毎年7月には大宮八幡宮の「祇園祭り弓道奉納試合」があり、お弓神事に参加しています。本殿でお祓いを受け、境内に設置し

た特設射場で宮司さんが矢渡しを行った後、試合を開始します。競技終了後、代表6人が鬼を封じ込めた大的を射て邪気を払います。

各種大会の成績抜粋（三木弓道会会員）

年 度	大 会 名	順 位
平成17年		
2月11日	神戸市冬季大会	優勝（堀井）
6月26日	神戸市優勝杯争奪大会	団体優勝（西本、片山、泉）
平成18年		
2月11日	神戸市冬季大会	優勝（東）
平成19年		
4月8日	兵庫県春季大会	優勝（ニノ方）
5月13日	兵庫県民体育大会	優勝（佐々木）
平成20年		
1月14日	日吉神社弓引き神事	優勝（泉）
5月18日	神戸市民体育大会	総合優勝（天野）
10月5日	兵庫県実業団	最高得点賞（東）
平成21年		
5月10日	兵庫県民体育大会	3位（桑村）
12月23日	兵庫県竹内杯記念	優勝（西本）
平成22年		
9月5日	明石市秋季大会	優勝（泉）
平成23年		
1月10日	神戸市初射会	優勝（東）
1月20日	宝塚田村麻呂杯（遠的）	団体優勝（西本、関、藤本）
3月6日	兵庫県桜月大会	優勝（ニノ方）
平成24年		
11月4日	明石市菊花大会	優勝（橋本）
平成25年		
10月20日	明石市総合体育大会	優勝（橋本）
平成26年		
3月2日	兵庫県桜月大会	優勝（ニノ方）
7月13日	明石市夏季大会	優勝（西本）

●我が協会の大きな夢

平成24年（2012年）から中学校保健体育において、武道の必修化が実施され、子供たちは何らかの武道を体験する事になりました。

日本古来の伝統文化に触れる事で相手を思いやり、自分を律する精神を養う。このような事を体験するのが目的です。

三木市においては大半の学校が柔道を選択しているようです。

我々も若い人に弓道を通じて武道を体験してほしいと思っています。

当協会の初心者弓道教室では中学生以上を対象にしており、毎年4～5人の子供たちが受講しています。

将来、三木市の中学、高校に弓道部を作り、若い弓引きを育てるのが我が協会の夢です。



平成26年 大宮八幡宮祇園祭奉納試合



平成25年 弓道合宿（大平山荘）

三木市グラウンドゴルフ協会

〔設立年度〕平成22年3月12日

〔事務局〕三木市緑が丘町西2-41-6 久内 奎吾宅内

〔加盟会員数〕16クラブ 420人 〈平成26年11月1日現在〉

〔現役員〕会 長 池町 耕一

副 会 長 二百寺榮吉 久内 奎吾

理 事 長 大搗 信男

会 計 飯嶋時喜子

理 事 岡部 雅年

高垣 忠夫

藤原 卓二

藤本 輝夫

岡本 慎吾

岡田 昭義

中田 正春

岡田 昭

正木 成男

須田 平吉

湯通堂貞行

小川 正巳

白石 智男

松浦 義和

魚住 育三

森本 俊昭

監 事 稲見 彰奏

井上 正明

庶 務 岡田 タカ

児玉ミキ子

1. はじめにグラウンドゴルフの誕生秘話

昭和57年、鳥取県泊村において、町民の高齢化と健康づくりが重要課題となり、教育委員会が中心となって、高齢者向けの新スポーツの開発に取り組んだ。高度な技術を必要とせず、しかも全力を出す場面と、集中力や調整力を発揮する場面が組み合わされており、ルールも簡単で、初心者でもすぐ取り組めるので爆発的に普及した。中高年者のスポーツへの関心は三木市でも平成10年ごろから、当時全盛期を誇ったゲートボールから次第にグラウンドゴルフに移ってきた。

2. 三木市におけるGG協会設立の経緯

三木市内の老人クラブの活動の大半を占めるといっていいほど普及してきたがGG協会がなく、有志が集まって協会設立の動きが始まった。三木市老人クラブ連合会の定例会長会において、①

GG協会を立ち上げたい。②会員は広く老人クラブ外の市民にも参加を呼びかけたい。③当分の間、大会開催時は市老連の用器具を使わせてほしい、の3点を提案し了解を得た。

3. 吉川町GG協会と協議

平成20年7月まなびの郷みずほにおいて、当時すでに協会を結成して活発に活動を展開していた



グラウンドゴルフ協会

吉川町GG協会幹部と会談した。できれば三木市内での一本化を目指していたが、8月の2回目の準備会において、吉川町の方の会員は、これまで通り吉川町にて従来通り活動したいとの意向を示された。以後、旧三木市区域を対象に、16名を協会設立準備委員に依頼し、会則案、活動計画、会費等々を協議して会員募集を始めた。190名が会員登録に応じてくださった。

4. GG協会設立総会

平成22年3月12日、グリーンピア三木において、兵庫県GG協会から4名の講師を招聘して、①ルール等の講義研修会、②三木市GG協会設立総会、③第1回グラウンドゴルフ大会を一挙に実施し、盛会裏に協会の船出を喜び合った。そして、6月に体協加盟を申請したが実績不足で、しばらくは活動の経過の様子を見ようと判断された。平成26年7月3日の三木市体協理事会において満場一致で加盟が承認された。更なる振興と普及活動に大きな励みとなります。ありがとうございました。

5. GG協会設立準備委員 16名

藤本 輝夫	岡本 慎吾	中田 正春
藤田 義幸	岸本 千秋	池町 耕一
金口 安博	二百寺榮吉	湯通堂貞行
村上 武治	松浦 義和	市原 猛臣
久内 奎吾	大搦 信男	正木 成男
中嶋 章三		



三木市長藪本吉秀氏による始球式



6. 当協会の特色

- 〈1〉 高齢者大学卒業生の積極的な社会参画が際立っている。当初は高大クラブに登録していたが、単位クラブの世話役を引き受けて、地元クラブへの移籍が数多く見られる。協会役員及び理事の過半数が高大卒である。
- 〈2〉 多くの障害者の会員が元気に活躍されている。

7. クラブ別会員数（平成26年11月1日現在）

三 木 A	三 木 B	三 木 C	別 所	志 染	細 川	口 吉 川	緑 が 丘	自 由 丘	あ か ね	白 寿 会	む つ み	遊 友	青 山	三 木 南	高 大 A	高 大 B
13	13	13	66	13	33	14	30	36	17	21	10	10	31	29	52	19

8. 歴代大会入賞者

回	優 勝	準優勝	3 位	4 位	5 位	開催日
1	高見 久吉	吉田 啓	立石チズル	稲見 彰奏	松浦 義和	22.03.12
2	大山 賢一	岡本 正勝	小川 正巳	稲見 彰奏	赤松 文夫	22.10.25
3	杉山 正幸	藤田 義幸	大東 泰司	繁森 健一	芦澤 昭雄	23.09.27
4	杉山 正幸	大山 賢一	松尾 昌子	河内 靖典	久内 奎吾	24.07.04
5	山本 忠良	高見 久吉	山口 治	梶 守	山本 良子	24.12.04
6	水島 祥喬	松浦 泰助	白石 智男	二百寺榮吉	川野 孝雄	25.05.14
7	和田 徹也	湯浅八次郎	岡田 定雄	川野 孝雄	岡本 正勝	25.09.10
8	山口 治	高見 久吉	赤松 文夫	宮脇 征史	大西 行雄	25.11.19
9	水島 祥喬	山口 治	湯通堂貞行	漁 正和	山本 忠良	26.05.21
10	石田 昌男	大搦 信男	山口 喬	谷生 讓	山口 治	26.09.17
11	森 竜雄	竹中 文子	市原 猛臣	中江 和修	田窪 勤	26.11.26

三木市体育協会加盟記念第10回グラウンドゴルフ大会成績表

平成26年9月17日

1	29	石田 昌男	細川	63	43	森本 文生	三木B	125	47	大西 行雄	志染
2	33	大搦 信男	高大A	64	43	東浦 光雄	三木B	126	47	榊野 陽一	別所
3	34	山口 喬	むつみ	65	43	松井 正幸	高大B	127	47	稲葉満寿美	志染
4	35	谷生 譲	別所	66	43	井上 隆司	遊友	128	47	佐久間鈴子	自由ヶ丘
5	36	山口 治	三木C	67	43	大島 成子	緑が丘	129	47	岡田 浩平	自由ヶ丘
6	36	小川 正巳	あかね	68	44	岡田トシエ	自由ヶ丘	130	47	若田 輝	三木B
7	36	岡部 雅年	三木A	69	44	雨坂 卓哉	遊友	131	47	松尾 昌子	あかね丘
8	36	岡本 正勝	細川	70	44	五百蔵 裕	自由ヶ丘	132	47	立花 愛子	三木C
9	37	杉山 正幸	白寿会	71	44	岡田 勲	三木B	133	47	十都 一正	口吉川
10	37	鍋島 徹夫	遊友	72	44	須田 平吉	自由ヶ丘	134	47	喜田 茂	高大B
11	37	戸田 節子	志染	73	44	野澤 英子	むつみ	135	47	前田 和子	別所
12	38	山口 勉	別所	74	44	赤松 昇司	三木南	136	47	矢野 弘之	緑が丘
13	38	池町 耕一	細川	75	44	中江 和修	自由ヶ丘	137	47	古谷 武	高大B
14	38	森 竜雄	むつみ	76	44	山本 直主	むつみ	138	47	岡田 タカ	高大B
15	38	泉原 良吉	緑が丘	77	44	湯通堂貞行	白寿会	139	47	竹中 文子	細川
16	38	藤田 善信	高大A	78	44	宮脇 征史	高大A	140	47	杉山千恵子	白寿会
17	39	大東 泰司	細川	79	44	平井美智子	三木C	141	47	高瀬 和久	高大A
18	39	藤田 義幸	細川	80	44	中川 洋子	高大A	142	47	赤松 明美	三木南
19	39	大東市太郎	三木C	81	44	松山 五夫	遊友	143	47	坂田 敏夫	三木C
20	39	藤本八重子	志染	82	44	家弓トミ子	高大A	144	47	津田美喜子	高大A
21	39	大山 賢一	細川	83	44	寺尾 忠司	高大A	145	48	吉田 英子	三木南
22	39	山本 忠良	緑が丘	84	44	長澤 庄司	むつみ	146	48	立花きよみ	高大A
23	39	湯通堂恵子	白寿会	85	44	稲見はつ実	細川	147	48	児玉ミキ子	自由ヶ丘
24	40	市原 猛臣	青山	86	44	土居 正宏	口吉川	148	48	西坂 豊	自由ヶ丘
25	40	大西 隆員	三木南	87	44	稲見 彰泰	細川	149	48	平石 房子	別所
26	40	魚 喜一郎	自由ヶ丘	88	45	藤本 輝夫	別所	150	48	和田加代子	別所
27	40	水島 祥喬	あかね丘	89	45	砂川智代子	自由ヶ丘	151	48	本丸マキ子	自由ヶ丘
28	40	魚 正和	自由ヶ丘	90	45	宮脇 久幸	三木C	152	48	岡田 十音	三木B
29	40	高野 修	三木B	91	45	竹中喜久司	細川	153	48	十都 進	口吉川
30	40	正木 成男	緑が丘	92	45	市橋 幸子	別所 n	154	48	近藤 恒男	高大A
31	40	岡田貴美子	三木B	93	45	田中 貞夫	口吉川	155	49	杉浦 宮子	別所
32	41	稲岡 保	高大B	94	45	杉本八重子	三木南	156	49	宮脇一二三	別所
33	41	伊地知了子	あかね	95	45	梅本 利子	高大A	157	49	小島 京子	遊友
34	41	武部 勝行	高大B	96	45	鶴澤 健一	自由ヶ丘	158	49	岡原 一行	白寿会
35	41	岸井 健司	細川	97	45	本丸 清	自由ヶ丘	159	49	矢島ハツ子	三木南
36	41	堀田キヌイ	遊友	98	45	幸盛 昭雄	自由ヶ丘	160	49	森川 安裕	緑が丘
37	41	高見 久吉	白寿会	99	45	今井 君子	高大A	161	49	鳥羽 聡	あかね丘
38	41	岸本 秀樹	三木B	100	45	飯尾 芳子	あかね丘	162	49	横山 長雄	高大B
39	41	和田金治郎	別所	101	45	坂野 宏	高大A	163	49	津田 光雄	高大A
40	41	田窪 勤	むつみ	102	45	岩崎 幸子	細川	164	50	小松 光義	三木南
41	41	中嶋 明美	別所	103	45	奥西 愛子	三木南	165	50	山本 良子	自由ヶ丘
42	42	木下みえ子	三木A	104	46	福本 清実	高大A	166	50	行方太二郎	高大B
43	42	魚住 育三	高大A	105	46	三橋 捷彦	自由ヶ丘	167	50	米村 政子	細川
44	42	魚住 喜市	緑が丘	106	46	森本 繁子	三木A	168	50	道下 静重	三木南
45	42	白石 智男	青山	107	46	芦澤 愛子	白寿会	169	50	西元サエ子	あかね
46	42	浅野留美子	遊友	108	46	伊地知季利	あかね丘	170	50	中野すみ子	あかね
47	42	高垣 忠夫	三木B	109	46	白井 広	三木A	171	51	西井とみゑ	志染
48	42	湯浅八次郎	別所	110	46	岡本 慎吾	別所	172	51	池町 嘉之	細川
49	42	藤原 卓二	三木C	111	46	中嶋 章三	別所	173	51	井上 武敏	高大A
50	42	中西 捻安	高大B	112	46	奥村 幸吉	緑が丘	174	51	和田 フミ	あかね丘
51	42	河内 靖典	高大A	113	46	梶 守	三木C	175	51	十都 幸子	口吉川
52	42	岡田 昭	細川	114	46	芦澤 昭雄	白寿会	176	51	吉本 邦彦	自由ヶ丘
53	42	寺口智恵子	三木A	115	46	川野 孝雄	むつみ	177	51	藤原 静代	三木C
54	42	久内 奎吾	高大B	116	46	二百寺榮吉	自由ヶ丘	178	51	増本 啓子	遊友
55	43	中田 秀春	志染	117	46	竹中 澄子	三木南	179	51	中江智佳子	自由ヶ丘
56	43	田中 正男	別所	118	46	井上 龍	細川	180	52	成田 澄子	三木南
57	43	松田 靖宏	あかね丘	119	46	赤松 慶宣	三木南	181	52	米田タカエ	あかね
58	43	岡田 定雄	緑が丘	120	46	森本 俊昭	高大B	182	52	井上 正明	口吉川
59	43	中北 忠男	遊友	121	46	今木 隆	三木C	183	52	岡本賀代子	三木C
60	43	永井 和臣	三木B	122	46	金苗 陽一	高大A	184	52	下村美知子	三木南
61	43	赤松 一代	三木南	123	46	池田 千幸	志染	185	54	山本みよ子	高大A
62	43	門野 穰	別所 n	124	47	桃塚 隆治	三木南	186	56	紀伊真稚子	三木南
								187	59	谷藤 松市	三木南

三木市体育協会創立六〇周年記念第 11 回協会 GG 大会成績表

平成 26 年 11 月 26 日

1	32	森 竜雄	むつみ	51	45	寺尾 忠司	高大 A	101	48	家弓トミ子	高大 A	151	51	末瀬 陽子	別所
2	37	竹中 文子	細川	52	45	大搦 信男	高大 A	102	48	福本 清実	高大 A	152	51	中西 隆志	高大 A
3	38	市原 猛臣	青山	53	45	正木 成男	緑が丘	103	48	松山スミ子	遊友	153	51	岡田 十音	三木 B
4	38	中江 和修	自由丘	54	45	大畠 強	緑が丘	104	48	吉本 邦彦	自由丘	154	52	宮脇 久幸	三木 C
5	38	田窪 勤	むつみ	55	45	和田 フミ	あかね	105	48	井上 隆司	遊友	155	52	井之上浅子	別所
6	38	森川 安裕	緑丘	56	45	土屋 洋子	白寿会	106	49	梅本 利子	高大 A	156	52	川野 孝雄	むつみ
7	39	竹中喜久司	細川	57	45	芦澤 愛子	白寿会	107	49	小島 京子	遊友	157	52	岡田 タカ	高大 B
8	39	稲村 杵雄	別所	58	46	木下みえ子	三木 A	108	49	辻本美恵子	別所 n	158	52	森本 俊昭	高大 B
9	39	藤田 義幸	細川	59	46	行方太二郎	高大 A	109	49	中田 秀春	志染	159	52	武部 勝行	高大 B
10	39	能津 平和	緑丘	60	46	十都 一正	口吉川	110	49	藤本 輝夫	別所 n	160	52	岡本賀代子	三木 C
11	39	山本 忠良	緑丘	61	46	藤本美智代	別所	111	49	紅谷 武	あかね	161	52	永田ユキ子	高大 A
12	40	岡原 一行	白寿会	62	46	竹本 征司	自由丘	112	49	二百寺榮吉	自由丘	162	52	坂田 敏夫	三木 C
13	40	大東市太郎	三木 C	63	46	高垣 忠夫	三木 B	113	49	奥村 幸吉	緑が丘	163	52	今木 隆	三木 C
14	40	平井美知子	三木 C	64	46	光川 雪夫	別所	114	49	尾野ノブ子	青山	164	53	児玉ミキ子	自由丘
15	41	山口 治	三木 C	65	46	野澤 英子	むつみ	115	49	岡部 雅年	三木 A	165	53	土居 正宏	口吉川
16	41	岡本 正勝	細川	66	46	鍋島 徹夫	遊友	116	49	細田 英一	高大 B	166	53	山口 喬	むつみ
17	42	近藤 正美	別所	67	46	幸森 昭雄	自由丘	117	49	山本美智子	別所 m	167	53	竹中 澄子	三木南
18	42	五百蔵 裕	自由丘	68	46	河内 靖典	高大 A	118	49	信川 去子	白寿会	168	53	中川 洋子	高大 A
19	42	湯通堂貞行	白寿会	69	46	十都 進	口吉川	119	49	喜田 茂	高大 B	169	53	藤田 清子	細川
20	42	瀬瀬 和子	自由丘	70	47	松井 正幸	高大 B	120	49	岡田貴美子	三木 B	170	53	森本 洋子	三木 B
21	42	白石 智男	青山	71	47	若田 輝	三木 B	121	49	和田加代子	別所	171	53	藤原 茂子	別所
22	42	森本 繁子	三木 A	72	47	魚住 育三	高大 A	122	49	長谷川浩三	別所	172	53	西馬 靖子	三木 C
23	42	中野すみ子	あかね	73	47	和田 徹也	あかね	123	49	津田 光雄	高大 A	173	54	矢島ハツ子	三木南
24	42	湯通堂恵子	白寿会	74	47	宮脇一二三	別所	124	49	中江智佳子	自由丘	174	54	古谷 武	高大 B
25	43	岡田 勲	三木 B	75	47	湯浅八次郎	別所	125	49	増本 啓子	遊友	175	54	杉山千恵子	白寿会 n
26	43	篤田 敏治	青山	76	47	谷生 譲	別所	126	50	岡田トシエ	自由丘	176	55	池町 嘉之	細川
27	43	和田金治郎	別所	77	47	池町 耕一	細川	127	50	中嶋 章三	別所	177	55	岸本 秀樹	三木 B
28	43	常深 初代	細川	78	47	芦澤 昭雄	白寿会	128	50	田中 正男	別所	178	55	西元サエ子	あかね
29	43	稲見 彰奏	細川	79	47	中塚美佐子	三木南	129	50	大山 賢一	細川	179	55	津田美喜子	高大 A
30	43	篠崎 恵	自由丘	80	47	杉山 正幸	白寿会	130	50	米田タカエ	あかね	180	56	白井 広	三木 A
31	43	光川 邦彦	別所	81	47	松尾 昌子	あかね	131	50	赤松 昇司	三木南	181	56	近藤寿美子	別所 m
32	43	本岡 玲子	細川	82	47	藤田 義信	高大 A	132	50	岸井 健司	細川	182	56	杉本八重子	三木南
33	44	中嶋 明美	別所	83	47	久内 奎吾	高大 B	133	50	堀田キヌイ	遊友	183	56	近藤 清乃	別所 m
34	44	岡田 浩平	自由丘	84	47	川本 義美	青山	134	50	本丸 清	自由丘	184	57	井上 正明	口吉川
35	44	井上 龍	細川	85	47	浅野留美子	遊友	135	50	道下 静重	三木南	185	57	坂野 宏	高大 A
36	44	矢野 弘之	緑が丘	86	48	砂川智代子	自由丘	136	50	飯尾 芳子	あかね	186	57	近藤 恒男	高大 A
37	44	大畠 成子	緑が丘	87	48	雨坂 卓哉	遊友	137	50	長澤 庄司	むつみ	187	58	小松 光義	三木南
38	44	高野 修	高大 A	88	48	藤本 安孝	別所	138	50	稲岡 保	高大 B	188	58	道下 彰	三木南
39	44	伊地知了子	あかね	89	48	久野 重信	別所	139	50	白石磨理子	青山	189	58	下村美知子	三木南
40	44	岡田 定雄	緑が丘	90	48	佐久間玲子	自由丘	140	50	稲見はつ実	細川	190	58	紀伊真雅子	三木南
41	44	澤尾二三子	細川	91	48	市橋 幸子	別所 n	141	50	金苗 陽一	高大 A	191	60	高瀬 和久	高大 A
42	44	小川 正巳	あかね	92	48	藤原 卓二	三木 C	142	51	田中 太一	別所	192	61	井上 清子	高大 A
43	44	中北 b 忠男	遊友	93	48	藤原 静代	三木 C	143	51	藤江 正子	三木南	193	66	谷藤 松市	三木南
44	44	魚 喜一郎	自由丘	94	48	飯嶋時喜子	高大 A	144	51	本岡 正美	細川				
45	44	水島 祥喬	あかね	95	48	山本 良子	自由丘	145	51	奥西 愛子	三木南				
46	45	澤尾 勝	細川	96	48	神澤 良夫	別所 n	146	51	門野 穰	別所				
47	45	松田 靖宏	あかね	97	48	山本 直主	むつみ	147	51	森本 文生	三木 B				
48	45	須田 平吉	自由丘	98	48	小山かつ代	別所 n	148	51	上原 忠雄	白寿会				
49	45	石田 昌男	細川	99	48	常深 光治	細川	149	51	立花 愛子	三木 C				
50	45	横山 長雄	高大 B	100	48	寺口智恵子	三木 A	150	51	中居 国義	別所				

60周年記念事業

- 1 会議等
- 2 事業内容
- 3 60周年記念事業実行委員会名簿
- 4 60周年記念体育功労者表彰受賞者一覧

三木市体育協会60周年記念事業

1 会議等

	月 日	会議名	内 容
1	平成25年 9月12日	第1回実行委員会 事業部会① 記念誌部会①	・役員決定・役割分担（部会別） ・記念事業について ・予算について
2	10月23日	記念誌部会②	・60周年記念誌の編集方針
3	11月15日	事業部会②	・式典及びスポーツ講演会 ・功労者表彰
4	12月 6日	三木市体育協会第2回理事会	・進捗状況の報告
5	平成26年 2月19日	記念誌部会③	・60周年記念誌の編集内容 ・各単位協会への記事依頼
6	6月24日	第2回実行委員会	・功労者表彰の選考 ・式典、講演会の進め方
7	7月 3日	三木市体育協会第1回理事会	・進捗状況の報告 （理事会にて事業承認）
8	9月17日	第2回実行委員会	・進行スケジュール・会場準備 （会場図ほか）
9	10月13日	60周年記念式典及び講演会	台風接近のため中止
10	12月 5日	三木市体育協会第2回理事会	・体育功労者表彰式について ・今後の予定（記念誌発行）
11	平成27年 2月21日	体育功労者表彰式	三木市教育センターで開催

2 事業内容

【事業部会関係事業】

- ①式典及びスポーツ講演会
- ②体育功労者表彰
- ③記念スポーツ大会

【記念誌部会関係事業】

- ①記念誌の発行
- ②記念ポスターの制作と掲示

3 三木市体育協会60周年記念事業実行委員会 名簿

	役 職	部 会	氏 名	所属協会・連盟
1	委員長		五百藏 征 幸	野球
2	副委員長	事業	井 上 要 二	バレーボール
3	事業部会長	〃	西 岡 伸 泰	剣道
4	会 計	〃	西 垣 弘 志	バレーボール
5	監 事	〃	富 田 進	ソフトボール
6		〃	野 田 裕 二	陸上
7		〃	堀 内 修 次	野球
8		〃	池 田 哲 雄	柔道
9		〃	天 野 文 利	水泳
10		〃	梅 田 秀 二	バドミントン
11		〃	則 宗 善 雄	ゲートボール
12		〃	二ノ方 鉄 夫	弓道
13	副委員長	記念誌	中 嶋 将 雄	卓球
14	記念誌部会長	〃	西 村 成 一	ソフトテニス
15	監 事	〃	井 上 薫	バスケットボール
16		〃	塩 谷 英 雄	卓球
17		〃	白 石 幸一郎	空手道
18		〃	小 紫 達 矢	サッカー
19		〃	大久保 茂	テニス

4 三木市体育協会60周年記念体育功労者表彰 受賞者一覧

No.	氏 名	所 属 団 体	所属年数	略 歴
1	フジワラ カズオミ 藤原 和臣	陸上競技協会	21年	H 5 みつきいマラソン競技役員(現在) H16協会監事(H26.5)
2	オオハシ ヨシキ 大橋 吉樹	陸上競技協会	10年	H 6 協会育成部理事(現在) H19みつきいマラソン競技役員(現在)
3	コンダ ヒロシ 近田 弘	野球協会	38年	S51少年野球協会理事(H4.12) H10同協会役員(現在)
4	ウオズミ セイジ 魚住 征治	野球協会	31年	S58少年野球協会理事(H4.3) H22同協会役員(現在)
5	ツルメ ミツル 鶴目 充	野球協会	31年	S58少年野球協会理事(H4.12) H15同協会会長(現在)
6	ヒラオ リュウスケ 平尾 隆介	野球協会	16年	H10審判員(H13.1) H21副審判長(現在)
7	コバヤシ テツヤ 小林 哲也	野球協会	25年	S64理事(H11.12) H12主任審判員(現在)
8	オカダ シンギ 岡田 茂美	卓球協会	15年	H11理事(現在)
9	サノ タカノリ 佐野 宜規	卓球協会	24年	H 2 理事(現在) H20審判長(現在)
10	オカモト タケシ 岡本 毅	バレーボール協会	20年	H 6 常任理事兼ソフトバレー部長(現在)
11	タナカ キミヨ 田中 紀美代	バレーボール協会	11年	H15常任理事兼少年部長(現在)
12	オオサキ トオル 大崎 徹	ソフトテニス協会	12年	H14常任理事(H25.12) H26副会長
13	センダ タケシ 千田 剛	ソフトテニス協会	18年	H 8 常任理事(H11.12) H26副理事長
14	オオニシ タケシ 大西 健	剣道連盟	33年	S56少年剣道教室指導者(現在) H19幹事(H23.3)
15	タバタ オサム 田畑 修	剣道連盟	36年	S53少年剣道教室指導者(H20.3) H7幹事(H24.3)
16	オグラ ジロウ 小椋 治朗	剣道連盟	36年	S53少年剣道教室指導者(H20.3) H24指導部長(H26.3)
17	モリタ マサキ 森田 正己	柔道協会	25年	H元理事(現在)
18	ナカムラ ヒサシ 中村 古	柔道協会	35年	H元理事(現在)
19	タケガワ マサヒデ 武川 正英	柔道協会	35年	H元理事(現在)
20	シライシ ナオユキ 白石 直之	空手道連盟	10年	H16理事兼事務局(現在)
21	クリバヤシ ケイコ 栗林 敬子	水泳協会	14年	H12役員(現在)
22	ヒラジマ トオル 平島 徹	水泳協会	14年	H12副会長(現在)
23	カガワ チェ 香川 千恵	水泳協会	20年	H 6 役員(現在)
24	カンザワ マサテル 神澤 昌輝	水泳協会	26年	S63役員(H24.3) H24理事(現在)
25	チャヤ シンゴ 茶屋 真吾	サッカー協会	24年	H 2 協会理事 H18協会審判部長

No.	氏 名	所 属 団 体	所属年数	略 歴
26	オダ ヤスシ 小田 泰史	サッカー協会	26年	S63協会加入(現在) H11役員(H13.11)
27	コムラサキ タツヤ 小紫 達矢	サッカー協会	22年	H 4 協会入会(現在) H 9 理事長(H21.3)
28	タカイ マサヤ 高井 雅也	バドミントン協会	20年	H 6 理事 H20理事長(現在)
29	トミタ ススム 富田 進	ソフトボール協会	35年	S54理事 H17会長(現在)
30	コウシタ トシタダ 香下 利忠	バスケットボール協会	24年	H 3 吉川町協会副会長(H17.10) H17副会長(H23.3)
31	ニシヤマ トシユキ 西山 利幸	バスケットボール協会	22年	H11吉川町協会会長(H17.10) H17副会長(現在)
32	イノウエ カオル 井上 薫	バスケットボール協会	24年	H 2 中体連競技役員(H18.3) H23会長(現在)
33	ツバキハラ タカオ 椿原 隆男	ゲートボール協会	14年	H16監事(H18.3) H18細川協会会長(H20.3)
34	コ イエ イクオ 古家 郁雄	ゲートボール協会	15年	H20吉川町協会会長(H24.3) H24指導員(現在)
35	ノリムネ ヨシオ 則宗 善雄	ゲートボール協会	14年	H20副会長(H22.3) H24会長(現在)
36	ミヤハラ カズオ 宮原 一生	ゲートボール協会	12年	H20吉川町指導部長(H24.3) H24副会長(現在)
37	イノウエ イサム 井上 勇	ゲートボール協会	14年	H16細川町会長(H18.3) H22監事(H24.3)
38	クワムラ ヒロキ 桑村 博喜	弓道協会	12年	H18理事(H20.4) H20理事長(現在)

三木市体育協会資料

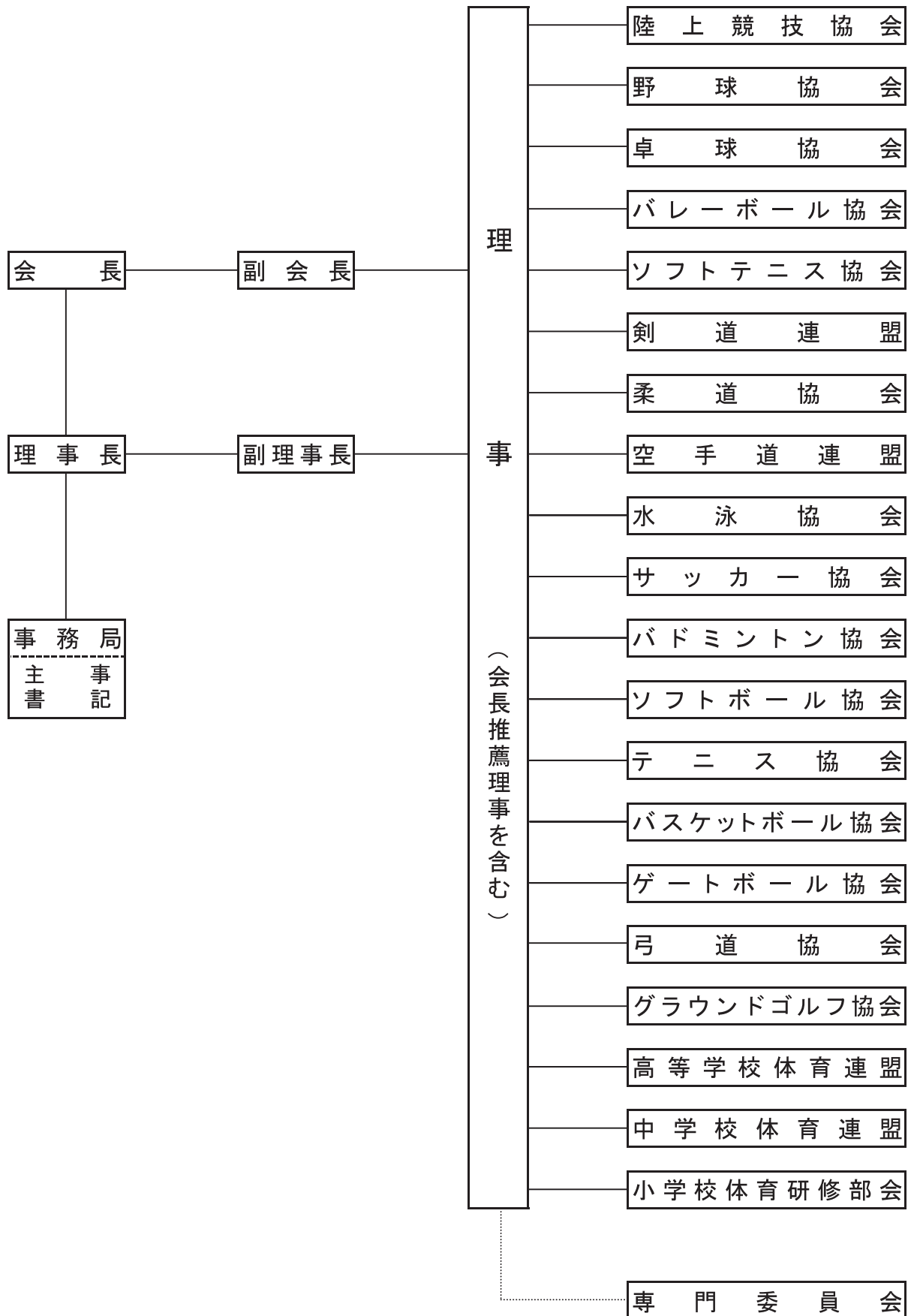
- ・ 三木市体育協会組織図
- ・ 平成 2 6 年度三木市体育協会役員名簿
- ・ 三木市体育協会歴代役員名簿
- ・ 三木市体育協会規約
- ・ 三木市体育協会表彰規程・表彰基準
- ・ 各種表彰者一覧

三木市教育功労者一覧（三木市教育委員会表彰）

スポーツ推進委員功労者一覧（東・北播磨、県、近畿・全国）

- ・ 三木市スポーツ賞表彰規則
- ・ 三木市スポーツ賞受賞者一覧
- ・ 市内スポーツ関連公共施設一覧

三木市体育協会組織図



平成26年度三木市体育協会役員名簿

(任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日)

役職名	氏 名	所 属
顧問	鷲 尾 弘 志	
会長	五百蔵 征 幸	野 球
副会長兼 理事長	中 嶋 将 雄	卓 球
副会長兼 副理事長	井 上 要 二	バレーボール
会計	古 田 寛 明	陸 上
監査	小 紫 邦 夫	剣 道
監査	池 田 哲 雄	柔 道
理事	野 田 裕 二	陸 上
理事	堀 内 修 次	野 球
理事	塩 谷 英 雄	卓 球
理事	小 嶋 茂 業	バレーボール
理事	西 村 成 一	ソフトテニス
理事	寺 尾 直 樹	ソフトテニス
理事	神 澤 正 輝	剣 道
理事	今 井 隆 之	柔 道
理事	白 石 幸一郎	空手道
理事	横 田 明 彦	空手道
理事	天 野 文 利	水 泳
理事	平 島 徹	水 泳
理事	岸 本 博 介	サッカー
理事	横 田 浩 一	サッカー
理事	高 井 孝 行	バドミントン
理事	梅 田 秀 二	バドミントン

役職名	氏 名	所 属
理事	富 田 進	ソフトボール
理事	金 井 暢 晃	ソフトボール
理事	堀 江 賢 三	テニス
理事	大久保 茂	テニス
理事	金 井 清	バスケットボール
理事	富 依 多雅藏	バスケットボール
理事	則 宗 善 雄	ゲートボール
理事	宮 原 一 生	ゲートボール
理事	佐々木 順 次	弓 道
理事	二ノ方 鉄 夫	弓 道
理事	久 内 奎 吾	グラウンドゴルフ
理事	大 搦 信 男	グラウンドゴルフ
理事	尾 上 典 宏	高体連
理事	吉 本 忠 義	高体連
理事	岸 本 亮 式	中体連
理事	堀 雅 宏	中体連
理事	古 谷 昭 文	小体研
理事	辻 田 考 祐	小体研
事務局	氏 名	備 考
主事	松 村 正 和	文化スポーツ振興課 課長
書記	高 田 耕 作	文化スポーツ振興課 副課長
書記	友 澤 幸 嗣	文化スポーツ振興課 主査
書記	大 西 良 門	文化スポーツ振興課 主査

三木市体育協会歴代役員名簿

役職名		16・17年度	18・19年度	20・21年度	22・23年度	24・25年度	26年度
顧問						鷲尾弘志	鷲尾弘志
会長		鷲尾弘志 (陸上)	鷲尾弘志	鷲尾弘志	鷲尾弘志	五百蔵征幸	五百蔵征幸
副会長		中嶋将雄 (卓球)	中嶋将雄	中嶋将雄	中嶋将雄	中嶋将雄	中嶋将雄
副会長		宮脇義昌 (会長推薦)	宮脇義昌 (会長推薦)	五百蔵征幸 (野球)	五百蔵征幸	井上要二	井上要二
会計		山村富和 (水泳)	山村富和	井上要二 (バレーボール)	井上要二	古田寛明 (陸上)	古田寛明
監査		池田哲雄 (柔道)	池田哲雄	小紫邦夫 (剣道)	小紫邦夫	小紫邦夫	小紫邦夫
監査		岡田八郎 (サッカー)	岡田八郎	池田哲雄 (柔道)	池田哲雄	池田哲雄	池田哲雄
理事長		五百蔵征幸 (野球)	五百蔵征幸	五百蔵征幸	五百蔵征幸	中嶋将雄	中嶋将雄
副理事長		永尾隆保 (ソフトテニス)	永尾隆保	永尾隆保	永尾隆保	永尾隆保	井上要二
理事	陸上	光川敏郎	光川敏郎	光川敏郎	古田寛明	野田裕二	野田裕二
	陸上	藤井晃正	藤井晃正	藤井晃正	野田裕二		
	野球	澤陽一郎	堀内修次	堀内修次	堀内修次	堀内修次	堀内修次
	野球						
	卓球	澤田勝	澤田勝	塩谷英雄	塩谷英雄	塩谷英雄	塩谷英雄
	卓球						
	バレーボール	川島富雄	川島富雄	川島富雄	小嶋茂業	小嶋茂業	小嶋茂業
	バレーボール	井上要二	井上要二				
	ソフトテニス	財田佳朗	財田佳朗	西村成一	西村成一	西村成一	西村成一
	ソフトテニス						寺尾直樹
	剣道	小紫邦夫	小紫邦夫	神澤正輝	神澤正輝	神澤正輝	神澤正輝
	剣道	神澤正輝	神澤正輝				
	柔道	今井隆之	今井隆之	今井隆之	今井隆之	今井隆之	今井隆之
	柔道						
	空手	白石幸一郎	白石幸一郎	白石幸一郎	白石幸一郎	白石幸一郎	白石幸一郎
	空手	横田明彦	横田明彦	横田明彦	横田明彦	横田明彦	横田明彦
	水泳	天野文利	天野文利	山村富和	天野文利	天野文利	天野文利
	水泳			天野文利	平島 徹	平島 徹	平島 徹

役職名		16・17年度	18・19年度	20・21年度	22・23年度	24・25年度	26年度
理事	サッカー	小紫達矢	小紫達矢	岸本博介	岸本博介	岸本博介	岸本博介
	サッカー			小紫達矢	横田浩一	横田浩一	横田浩一
	バドミントン	高井孝行	高井孝行	高井孝行	高井孝行	高井孝行	高井孝行
	バドミントン	今井信夫	今井信夫	今井信夫	今井信夫	梅田秀二	梅田秀二
	ソフトボール	吉田平三	富田 進	富田 進	富田 進	富田 進	富田 進
	ソフトボール	山崎博己・二杉 輝	永尾津世士	山崎博己	山崎博己	金井暢晃	金井暢晃
	テニス	長曾我部次郎	郡山孝志	堀江賢三	堀江賢三	堀江賢三	堀江賢三
	テニス	郡山孝志	堀江賢三	浅堀晶弘	大久保 茂	大久保 茂	大久保 茂
	バスケットボール	金井 清	金井 清	金井 清	金井 清	金井 清	金井 清
	バスケットボール	横野泰祐	横野泰祐	横野泰祐	横野泰祐	横野泰祐	富依多雅藏
	ゲートボール	田中健三	白綾 峻	白綾 峻	森永勝正	則宗善雄	則宗善雄
	ゲートボール	白綾 峻	則宗善雄	中西弘子	中西弘子	宮原一生	宮原一生
	弓 道	佐々木順次	佐々木順次	佐々木順次	佐々木順次	佐々木順次	佐々木順次
	弓 道	藤枝 昭	二ノ方鉄夫	二ノ方鉄夫	二ノ方鉄夫	二ノ方鉄夫	二ノ方鉄夫
	グラウンドゴルフ						久内奎吾
	グラウンドゴルフ						大搗信男
	高体連	衣川行雄	田坂昌彦	堀希世志	田坂昌彦	平島 徹	尾上典宏
	高体連	高井信之	森 淳子	日笠光章	西面佳人	吉本忠義	吉本忠義
	中体連	堀 雅宏	堀 雅宏	堀 雅宏	堀 雅宏	堀 雅宏	岸本亮式
	中体連	仲島 功	小俵主也	小俵主也	小俵主也	小俵主也	堀 雅宏
	小体研	常深憲人	榊田邦夫	山城芳郎	岸本博介	岸本博介	古谷昭文
	小体研	岸本博介	岸本博介	横山康文	小林俊治	平 田 健太郎	辻田考祐
	会長推薦	池町耕一	池町耕一				
	会長推薦	魚住正男	魚住正男				
事務局	主事	伊勢 誠	穂積良夫	松村正和	松村正和	松村正和	松村正和
	書記	古田寛明	古田寛明	西馬英雄	高田耕作	高田耕作	高田耕作
	書記	岸本亮式	岸本亮式	金井善純	金井善純	石田英之	友澤幸嗣
	書記	成瀬拓生	金井善純	階戸八枝子	大西良門	大西良門	大西良門
	書記			大西良門			

三木市体育協会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本協会は三木市体育協会という。

(目的)

第2条 本協会は、体育諸団体が相互の親密なる協調と連絡を保ち、体育・スポーツ・レクリエーションなどの普及、振興をはかり市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の育成に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本協会は前条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- (1) 三木市体育行政及びその他の機関、団体の施策に対して協力すること。
- (2) スポーツのアマチュア精神を確立すること。
- (3) 加盟団体の強化発展と相互の連絡融和を図ること。
- (4) スポーツの指導者養成を図ること。
- (5) 各種大会・講習会等、スポーツに関する行事の実施。
- (6) スポーツの宣伝、啓発及び研究調査に関すること。
- (7) スポーツの功労者並びに優秀選手を表彰すること。
- (8) その他本協会の目的達成に必要な事業。

(登録)

第4条 本協会は兵庫県体育協会に加盟する。

(事務所)

第5条 本協会の本部及び事務局は、三木市教育委員会事務局内に置く。

(加盟団体)

第6条 本協会は各種アマチュア体育団体（以下「加盟団体」という。）をもって組織する。
学校体育連盟は、本協会の組織単位として認めることができる。

(加盟)

第7条 加盟団体及び前条の組織団体として認められた団体は理事会の決議を経て加盟する。

(脱退)

第8条 加盟団体が第6条に掲げる資格を失った時、又は加盟が不適当であると認められたときは、理事会の決議を経て脱退させることができる。

第2章 組織

(役員)

第9条 本協会に次の役員をおく。

- | | |
|----------|-----|
| (1) 会長 | 1名 |
| (2) 副会長 | 若干名 |
| (3) 理事長 | 1名 |
| (4) 副理事長 | 若干名 |
| (5) 理事 | 若干名 |
| (6) 監査 | 若干名 |

(7) 会計 1 名

(役員の選出)

第 10 条 本協会の役員は次によって選出する。

- 2 会長、副会長は理事会の決議を得てこれを定める。
- 3 理事長、副理事長、監査、会計は理事会に於いて理事の中から選出する。
- 4 理事は、構成団体の中から各 2 名選出し、その他、学識経験者から若干名会長が推薦し、理事会の承認を得て選出することができる。

(任務)

第 11 条 本協会の役員の任務は次のとおりとする。

- 2 会長は本協会を代表し会務を統理する。
- 3 副会長は会長を補佐し会長事故あるときはその職務を代行する。
- 4 理事長は会長の命を受けて会務を執行し、副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときは、その職務を代行する。
- 5 理事は理事会を組織し、本協会の重要会務を審議処理する。
- 6 監査は本協会の会計を監査する。
- 7 会計は本協会の会計をつかさどる。

(名誉会長、顧問、参与)

第 12 条 本協会は、理事会の議決を経て名誉会長、顧問、参与を置くことができる。

(職員)

第 13 条 本協会の会務の処理をするために主事及び書記若干名を置くことができる。

- 2 主事及び書記は理事長の推薦により、理事会の承認を経て会長が任命する。

(任期)

第 14 条 本協会の役員の任期は 2 カ年とする。但し、再任を妨げない。補欠役員の任期は、前任者の残任期間とし、増員による役員の任期は他の役員の残任期間とする。

第 3 章 会議

(理事会)

第 15 条 理事会は会長、副会長及び理事をもって構成し、会長がこれを召集する。

(議事)

第 16 条 会議は召集役員の 2 分の 1 の出席をもって成立し議決は出席者の過半数をもってきめる。

(記録)

第 17 条 すべての会議には会議録を作成する。

第 4 章 会計

(経費)

第 18 条 本協会の経費は次に定めるものをもって当てる。

- (1) 会費
- (2) 事業収入
- (3) 寄付金
- (4) 補助金
- (5) その他

(会計年度)

第19条 本協会の会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日に終わる。

第5章 専門委員会

(設置)

第20条 本会は理事会の議決を経て各種専門委員会を設けることができる。

第21条 各種専門委員会は、それぞれの所管する事項に関しては決定及び実施の権限を有する。但し、各種専門委員会の事業計画及び基本方針については理事会の承認を得なければならない。

第22条 各種専門委員会について必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

第6章 規約の変更及び細則

(規約の変更)

第23条 本協会の規約の変更は理事会において過半数の同意があればこれを変更することができる。

(細則)

第24条 本協会の細則は別にこれを定める。

付 則

本規約は、昭和43年4月1日より施行する。

昭和32年4月 1日 制定

昭和36年4月16日 一部改正

昭和43年4月 1日 改正

三木市体育協会表彰規程

(目的)

第1条 この規則は、三木市体育協会におけるスポーツの振興に関し、功績顕著なものを表彰し、永く顕彰することを目的とする。

(受賞者の資格)

第2条 受賞者の資格は、次の各号に該当するものとする。

- (1) スポーツの振興に著しく功績のあったもの。
- (2) 多年スポーツ指導に精励し、著しく功績のあったもの。

(選考及び決定の方法)

第3条 表彰を受けるものは、前条に該当するものの中から体育協会が選考決定する。

(選考の基準)

第4条 選考の基準は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和59年6月11日より施行する。

三木市体育協会表彰基準

三木市体育協会表彰規則第4条の規定により、選考基準を次のとおり定める。

- 1 現住所が本市にあるか否かを問わず第2条に該当するものを対象とする。
- 2 各単位協会において、10年以上の所属年数を有するもの。
- 3 単位協会設立及び活動に著しい功績があったもの。
- 4 5年ごとに記念大会の式場にて表彰する。

三木市教育功労者一覧（三木市教育委員会表彰）

年度	陸上	野球	卓球	バレーボール	ソフトテニス	剣道	柔道	空手	水泳	サッカー
17			金川 政広		岸田 正輔				藤本 哲也	
18		山根 一成			宗高 秀行	田畑 修				
19		守谷 秋夫								
20			塩谷 英雄							小田 泰史
21	藤原 和臣	鶴目 充				大西 健	武川 正英	横田 明彦		
22	古田 寛明	魚住 征治	佐野 宜規	小嶋 茂業	千田 剛	田中 司			栗林 英夫	古谷 昭文
				田中紀美代		檜皮 隆夫			平島 徹	
23		平尾 隆介		大田 直樹	平井 徳	西岡 伸泰				茶屋 真吾
				十倉 治		澤田 薫				
						大柴 敏昭				
24	大橋 吉樹	小林 哲也		藤田 浩一	住本 俊之	神澤 文和	錦清水	白石 直之		
						小林 哲也		七條 高紀		
								中谷 直樹		
								森下 正弘		
25	梶尾 保	近田 弘	岡田 茂美	岡本 毅	田上 道	小林 統一	池町 雅宏	小泉 隆成		小紫 達矢
			氏田 俊子	川野 修子		藤田 均	窪田 吉克			
			吉永 紀子							
26	澁谷 優美	魚住真一郎	山本 卓弥	中井 靖子	三木 浩二	植田 吉則				吉岡 薫
			上田 和弘	今安 孝次		木下 穂玄				横田 浩一

年度	バドミントン	ソフトボール	テニス	バスケットボール	ゲートボール	弓道	グラウンドゴルフ	SC21（H23～）	
17		二杉 輝		益田 俊幸					
18									
19		富田 進		垣内 紘					
20									
21				香下 利忠					
22	松澤 和子		堀江 賢三	西山 利幸	大土居美里	佐々木順次			
			浅堀 晶弘	岸本 亮式	中西 弘子				
23								二杉 哲男	宮脇万里子
								大年 隆夫	寺西やよい
								岩崎 和江	
24		米田 東				二ノ方鉄夫		林 弘幸	池田 博文
								中江 民	牧野雄佐久
								菅野 正	福岡 俊史
								大坪 良市	
25						西本 建男			
26						泉 和明	池町 耕一	赤松 敬一	片岡 宣示
							二百寺栄吉	森井 昌幸	森田 正己

スポーツ推進委員功労者一覧

年度	全国・近畿	兵庫県	東・北播磨
平成 17		宮谷 茂子	
18		松平 末次	岩崎 誠 宮脇 雅彦 神沢 昌輝
19		藤本 哲也	廣田 千穂
20	高井 孝行（30年）	安岡 昌子	
21		川崎 邦子	
22		藤原 和臣	宮本 政一 佐々木順次 大西久美子 東泉あけみ
23	富依多雅藏（全国・30年） 小嶋 茂業（30年） 富田 進（30年）	日原 逸見 大西 隆	岩谷 真吾 藤枝 隆文
24		本間 美穂	橋本 和美 平井 徳
25		宮脇 雅彦 神沢 昌輝 河端 康	七條 高紀 金井 善純
26			

※（30年）・・・勤続30年全国スポーツ推進委員連合会長感謝状贈呈

三木市スポーツ賞表彰規則

[平成元年 三教委規則第7号]

(目的)

第1条 この規則は、三木市における体育・スポーツの成績が優秀であった個人又は団体を表彰し、市民の範とするとともに、スポーツを広く市民に普及させることを目的とする。

(表彰の種類及び対象者)

第2条 表彰は、次に掲げる種類とし、被表彰者は当該各号に該当する者で、学校、体育協会又は教育委員会事務局から推薦されたものとする。

(1) スポーツ優秀選手・団体賞

個人又は団体として体育・スポーツの競技成績が特に顕著なもの

(2) スポーツ奨励賞

個人又は団体として体育・スポーツの競技成績が顕著で、将来において活躍が一層期待されるもの

(選考及び決定)

第3条 被表彰者は、前条の規定により推薦された候補者について三木市スポーツ賞選考委員会（以下「選考委員会」という。）で審議し、教育委員会が決定する。

(選考委員会)

第4条 選考委員会は、体育協会並びに教育委員会事務局及び学識経験者で構成する。

(表彰の方法)

第5条 被表彰者には、表彰及び記念品を贈る。

(表彰の時期)

第6条 表彰は、毎年1回教育委員会が定める日に行う。

(推薦の方法)

第7条 候補者の推薦は、三木市スポーツ賞候補者推薦書（別紙様式）により教育委員会に行うものとする。

2 前項の推薦は、毎年1月から12月までの競技成績等を対象として行う。

(選考の基準)

第8条 被表彰者の選考の基準は、別に定める。

(その他)

第9条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が定める。

附 則

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 三木市市民スポーツ最高賞選定規則（昭和43年三教委規則第7号）は、廃止する。

三木市スポーツ賞受賞者一覧

年度	優秀選手・団体賞	奨励賞		特別賞
		個人の部	団体の部	
17	【個人】 (陸上) 川上 夏紀 高吉 理恵 苔口 佳代 (水泳) 栗林 優子 長田 麻利 茶木 将亘 (ゴルフ) 澤井 瞳 (山岳) 藤田実弥子 【団体】 (駅伝) 緑が丘中学校男子駅伝チーム (水泳) 自由が丘中学校女子水泳リレーチーム	(陸上) 桑村 美里 高岸 信策 馬野 歩夢 小舟 舞 澤尾 健治 (水泳) 稲地 裕志 野津由美子 永森 圭介 藤原 真人 (テニス) 田中 大騎 藤原 優芳 山崎 宏昭 (ソフトボール) 片山笑美子 (バドミントン) 中西 久昌 (ソフトテニス) 西 昭信 (馬術) 門美 真理	(サッカー) 三樹平田サッカークラブ (剣道) 自由が丘少年剣道教室 (駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ 緑が丘中学校女子駅伝チーム (バレーボール) 緑が丘スポーツ少年団 三木排釜会フェニックス (水泳) 自由が丘中学校女子水泳部	
	【個人】 (水泳) 野津由美子 栗林 優子 長田 麻利 茶木 将亘 (陸上) 綾香 怜 高吉 理恵 苔口 佳代 (スポーツクライミング) 藤田実弥子 (卓球) 間宮 浩之	(陸上) 角田 風彩 川東 慶之 坂本 逸 三宅 雄大 (バドミントン) 鈴木 明子 中西 久昌 (空手道) 白石幸一郎	(サッカー) 別所中学校サッカー部 (駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ 緑が丘中学校女子駅伝チーム 緑が丘中学校男子駅伝チーム 三木高等学校陸上競技部 (バレーボール) 三木排釜会フェニックス (水泳) 自由が丘中学校女子水泳部 (少林寺拳法) 三木高等学校少林寺拳法部	(サッカー) 森本 健太 (バレーボール) 佐藤 未来 佐藤 歩夢 吉田さやか
	【個人】 (陸上) 近藤 洋平 (水泳) 野津由美子 茶木 将亘 (ウエイトリフティング) 濱田 大作 【団体】 (駅伝) 緑が丘中学校男子駅伝チーム (野球) 関西国際大学硬式野球部	(陸上) 守岡 紗希 森崎実花子 永信 明人 富樫 拓也 下屋 陽亮 (水泳) 福田 真子 栗林 優子 永森 圭介 (バドミントン) 鈴木 明子 高井 雅也 川嶋 英子 小原 武 中西 久昌 (卓球) 吉岡 理恵 (なぎなた) 秋田 優 (ウエイトリフティング) 杉本 真一 (パワーリフティング) 奥谷 祐太 坂本 祐磨 宮口 和也 宮田 英昌 (ソフトテニス) 金井修一郎	(バレーボール) 三樹バレーボールクラブ (剣道) 吉川剣道少年団 (駅伝) 緑が丘中学校女子駅伝チーム 三木高等学校女子駅伝チーム (水泳) 三木北高等学校女子水泳部	

年度	優秀選手・団体賞	奨励賞		特別賞
		個人の部	団体の部	
20	【個人】 (陸上) 永信 明人 川上 夏紀 (テニス) 池町 涼介 (ウエイトリフティング) 山本 俊樹 (水泳) 栗林 優子 永森 圭介 (バドミントン) 中西 久昌	(陸上) 大内 陽香	(剣道) 自由が丘少年剣道教室	(サッカー) 吉岡 圭
		田中 達也	(駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ	
		城谷美沙希	緑が丘中学校女子駅伝チーム	
		高岸 信策	三木高等学校女子駅伝チーム	
		小山 夏子	三木高等学校男子駅伝チーム	
		酒井 詩織	(サッカー) 緑が丘中学校サッカー部	
		(スノーボード) 角野 友基	(少林寺拳法) 三木高等学校少林寺拳法部	
		(水泳) 近藤 直大	(水泳) 三木北高等学校水泳部	
		岡田 真衣	(なぎなた) 三木東高等学校なぎなた部	
		山本 麻利	(ソフトテニス) 三木東高等学校ソフトテニス部	
		(ウエイトリフティング) 近田 優保		
		見附 絵莉		
		吉田 兼理		
		境 祥男		
		(なぎなた) 藤原 朱伽		
		(ソフトテニス) 藤本 有紀		
		藤本 早紀		
21	【個人】 (水泳) 岡田 真衣 栗林 優子 (ウエイトリフティング) 見附 絵莉 山本 俊樹 (なぎなた) 藤原 朱伽 (バドミントン) 中西 久昌 【団体】 (硬式野球) 関西国際大学硬式野球部	(バドミントン) 中田 篤志	(駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ	
		澄川 稔子	三木中学校女子駅伝チーム	
		(陸上) 有賀 由貴	三木高等学校男子駅伝チーム	
		城谷美沙希	三木高等学校女子駅伝チーム	
		佐藤 颯真	(水泳) 緑が丘中学校水泳部女子チーム	
		大貫 真実	三木北高等学校水泳部	
		延藤 潤	女子リレーチーム	
		(自転車競技) 八木 梓	(ウエイトリフティング) 三木東高等学校男子ウエイトリフティング部	
		(水泳) 近藤 直大	三木東高等学校女子ウエイトリフティング部	
		川内 恵理	(なぎなた) 三木東高等学校なぎなた部	
		(卓球) 明空 美希	(サッカー) FC VICTORIES	
		吉田 有希	(バレーボール) 三木排釜会フェニックス	
		(ウエイトリフティング) 錦戸美華里		
		近田 優保		
		光山 千宏		
		森田 智春		
		米田 元気		
		(ボーリング) 岡本 大介		
22	【個人】 (水泳) 近藤 和 薬師 里穂 栗林 優子 (陸上) 西村 陽貴 玉置 友耶 丸山 澄夫 (ウエイトリフティング) 柳本かおる 近田 優保 見附 絵莉 (少林寺拳法) 植野 輝 田中 伸治	(バドミントン) 藤本 翔悟	(サッカー) FC志染	(サッカー) 香川 勇気 梶 圭輔 村上源太郎 (駅伝) 延藤 潤
		(陸上) 金井 涼馬	ヴィリッキニー自由東SC	
		田中 晴希	ボアソルチFC	
		上村 亮太	(駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ	
		戸塚 悠太	三木東中学校男子駅伝チーム	
		田邊摩希子	三木高等学校男子駅伝チーム	
		山本 大志	三木高等学校女子駅伝チーム	
		石井 貴大	(水泳) 緑が丘中学校水泳部女子チーム	
		(トライアスロン) 清 美弥子	(フットサル) FC志染ジュニアユースモルタ	
		(水泳) 近藤 直大	(ウエイトリフティング) 三木東高等学校男子ウエイトリフティング部	
		(ウエイトリフティング) 西垣 友華	(なぎなた) 三木東高等学校なぎなた部	
		光山 千宏		

年度	優秀選手・団体賞	奨励賞		特別賞
		個人の部	団体の部	
22	(バドミントン) 澄川 稔子 中西 久昌 (卓球) 間宮 浩之 【団体】 (少年硬式野球) 兵庫三木リトルシニア (ウエイトリフティング) 三木東高等学校女子ウエイトリフティング部 (硬式野球) 関西国際大学硬式野球部	(スポーツクライミング) 藤井 咲樹 (なぎなた) 紀伊 歩 (ソフトテニス) 鎌田 節子 西 昭信 若林 博之 (卓球) 宮本 敦子 (車椅子バスケットボール) 井上 順 (フライングディスク) 春野 純一	(水球) 三木北高等学校水泳部 男子水球チーム 三木北高等学校水泳部 女子水球チーム (軟式野球) BLAVERS (ブレイバーズ)	
23	【個人】 (陸上) 西村 陽貴 笹田 航 石井 貴大 松原 正文 (水泳) 近藤 和 薬師 里穂 栗林 優子 (ウエイトリフティング) 柳本かおる (ビーチバレー) 平上 帆澄 (バドミントン) 澄川 稔子	(バドミントン) 亀井 菜杏 亀井 晴風 田中 勇成 藤本 翔悟 (陸上) 田中 晴希 上村 亮太 戸塚 悠太 濱名 慶 永井 秀樹 苔口 佳代 (スポーツクライミング) 豊後 大貴 石井 亨輔 畑谷 拓哉 (ウエイトリフティング) 西垣 友華 (ソフトテニス) 田上 道 鎌田 節子 若林 博之 (卓球) 宮本 敦子	(軟式野球) 三木ユニオンズクラブ (駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ 三木高等学校男子駅伝チーム 三木高等学校女子駅伝チーム (剣道) 吉川剣道少年団 (なぎなた) 三木東高等学校なぎなた部 (ウエイトリフティング) 三木東高等学校女子ウエイトリフティング部 (水球) 三木北高等学校水泳部 男子水球チーム (水泳・水球) 三木北高等学校女子水泳部 (ゲートボール) 三木市ゲートボールチーム	(ウエイトリフティング) 山本 俊樹 (キンボール) 東恩納江志
24	【個人】 (陸上) 西村 陽貴 福井 孝志 石井 貴大 北住絵里奈 松原 正文 (水泳) 近藤 和 梅野 裕理 栗林 優子 山本 麻利 (ウエイトリフティング) 西垣 友華 (なぎなた) 府内 萌 【団体】 (駅伝) 三木東中学校男子駅伝チーム	(空手道) 後藤 佳成 (陸上) 神澤 桃 村尾 杏実 前田 涼也 藤原 広夏 藤田 大智 (トライアスロン) 藤井 嵩大 (なぎなた) 紀伊 有夏 (ウエイトリフティング) 木村 修斗 手塚 裕哉 柳本かおる 山本 園佳 (卓球) 岡田 茂美 宮本 敦子 (ソフトテニス) 鎌田 節子 若林 博之	(軟式野球) 緑が丘スターズ K・B・C (硬式野球) 兵庫三木リトルシニア (駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ 自由が丘中学校男子リレーチーム 三木高等学校男子駅伝チーム 三木高等学校女子駅伝チーム (フットサル) 三樹平田サッカークラブ (卓球) 吉川中学校卓球部 (サッカー) M.SERIO FC ジュニアユース (なぎなた) 三木東高等学校なぎなた部 (ウエイトリフティング) 三木東高等学校女子ウエイトリフティング部	(ウエイトリフティング) 山本 俊樹

年度	優秀選手・団体賞	奨励賞		特別賞
		個人の部	団体の部	
25	【個人】 (テニス) 豊島 舞 豊島 由衣 (なぎなた) 紀伊 有夏 (ウエイトリフティング) 木村 修斗 (陸上) 石井 貴大 (水泳) 栗林 優子 (バドミントン) 中西 久昌	(バドミントン) 松岡 汰一	(駅伝) 自由が丘東小学校駅伝チーム	(ウエイトリフティング)
		川村 真央	三木ジュニアランニングクラブ	山本 俊樹
		田中 勇成	三木東中学校男子駅伝チーム	(キンボール)
		藤本 翔悟	三木高等学校男子駅伝チーム	池田 和彦
		澄川 稔子	三木高等学校女子駅伝チーム	(陸上)
		(陸上) 奥田 啓史	ボアソルチフットボールクラブ	西村 陽貴
		戸塚 悠太	関西国際大学サッカー部	(サッカー)
		藤本 泰範	(水泳) 自由が丘中学校水泳部男子チーム	岩崎 英一
		藤原 広夏	三木北高等学校女子水泳部	
		永井 秀樹	(なぎなた) 三木東高等学校なぎなた部	
		池内 博	(ウエイトリフティング) 三木東高等学校男子ウエイトリフティング部	
		春野 陽子	三木東高等学校女子ウエイトリフティング部	
		(水泳) 縄井 彪士	(硬式野球) 関西国際大学硬式野球部	
		近藤 和		
		(トライアスロン) 藤井 嵩大		
		(ウエイトリフティング) 塩見 未希		
		濱ノ園麻里		
		見附 瑠海		
		鐘ヶ江龍弥		
		廣瀬 珠子		
		手塚 裕哉		
		(なぎなた) 太田黒 永		
		(ソフトテニス) 鎌田 節子		
		若林 博之		
26	【個人】 (陸上) 神澤 桃 (ウエイトリフティング) 三谷 海空 濱ノ園麻里 見附 瑠海 鐘ヶ江龍弥 廣瀬 珠子 西垣 友華 (水泳) 近藤 和 栗林 優子 岡田 正 (バドミントン) 澄川 稔子 中西 久昌 【団体】 (駅伝) 三木中学校女子駅伝チーム (ウエイトリフティング) 三木東高等学校女子ウエイトリフティング部	(空手道) 小畑 彩祐	(駅伝) 三木ジュニアランニングクラブ	(陸上)
		白石幸一郎	三木東中学校男子駅伝チーム	西村 陽貴
		(バドミントン) 川村 真央	三木東中学校女子駅伝チーム	(硬式野球)
		松岡 春花	三木高等学校男子駅伝チーム	中村 奨吾
		亀井 菜杏	三木高等学校女子駅伝チーム	野間 峻祥
		亀井 晴風	(サッカー) 緑が丘中学校サッカー部	(車椅子バスケットボール)
		藤本 翔悟	自由が丘中学校サッカー部	井上 順
		(陸上) 金月 利孔	FC VICTORIES	(ソフトテニス)
		高田 兼成	(水泳) 自由が丘中学校水泳部男子チーム	客坂 忍
		井澤菜実香	(軟式野球) 自由が丘レッドファイターズ	(駅伝)
		松原 正文	(なぎなた) 三木東高等学校なぎなた部	長山 宏
		(ウエイトリフティング) 坂本 洋平	(ウエイトリフティング) 三木東高等学校男子ウエイトリフティング部	
		塩見 未希		
		(なぎなた) 林 真帆	(卓球) 三木中学校女子卓球部	
		福田 菜々	(硬式野球) 関西国際大学硬式野球部	
		(ソフトテニス) 鎌田 節子	(バレーボール) ビクトリー	
		若林 博之		
		(水泳) 縄井 彪士		

市内スポーツ関連公共施設一覧

(平成26年11月現在)

施 設 名 (所在地・連絡先)	用 途
三木山総合公園 福井2474-5 ☎83-4442	野球場、陸上競技場（多目的広場）、屋内プール テニスコート8面、弓道場
吉川総合公園 吉川町西奥260 ☎73-1155	文化体育館（バレーボール2面、家庭バレーボール4面、 バスケットボール1面、バドミントン4面） 多目的グラウンド（野球、陸上、サッカー） テニスコート16面、ゲートボール場4面
三木コミュニティスポーツセンター 加佐572 ☎83-3434	アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール1面、 バドミントン4面） トレーニングルーム
勤労者体育センター 福井1947-3 ☎090-5158-2298 (体育館事務所)	アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール2面、 バドミントン4面）
市民体育館 福井1947-3 ☎090-5158-2298 (体育館事務所)	アリーナ（バレーボール2面、バドミントン4面）
吉川体育館 吉川町吉安222-2 ☎72-1577 (吉川町公民館)	アリーナ（バレーボール2面、バスケットボール1面、 バドミントン4面）
緑が丘スポーツ公園 緑が丘町西2丁目42 ☎85-5522 (公園事務室)	テニスコート8面 多目的グラウンド（野球、サッカー、ソフトボールほか）
自由が丘北公園 志染町吉田1241-13 ☎83-4442 (三木山総合公園)	野球場
三木グリーンパーク 福井2472 ☎83-0488	多目的グラウンド（野球、サッカー、ソフトボールほか） 屋内ゲートボール場（ゲートボール、グラウンドゴルフ）
ともえ運動公園 別所町巴13 ☎83-4442 (三木山総合公園)	野球場
三木スケートボードパーク 上の丸町（三木市文化会館裏駐車場の角）	スケートボード、インラインスケートに利用できるコン クリート製のウォール（ボール、パンク等）施設
サンライフ三木 福井1933-12 ☎83-3010	多目的ホール（バレーボール1面、バドミントン1面） トレーニングルーム
公民館・交流センター 三 木 南 福井2484-9 ☎83-1710 別 所 町 別所町西這田1丁目10 ☎82-0072 志 染 町 志染町井上173 ☎87-3814 細 川 町 細川町豊地55-1 ☎86-2059 口吉川町 口吉川町殿畑144 ☎88-0004 緑が丘町 緑が丘町中3丁目38 ☎85-7011 自由が丘 志染町西自由が丘1丁目595 ☎85-4700 青 山 志染町青山3丁目15-2 ☎87-1300	体育館（8館） トレーニングルーム（三木南、緑が丘、自由が丘）
三木ホースランドパーク 別所町高木 ☎83-8110 (ホースランド) ☎86-1771 (研修センター)	研修センター 多目的ホール（バレーボール、バドミ ントン） 馬事センター 乗馬場 ふれあいの森 ターゲットバードゴルフ ホースシューズ、グラウンドゴルフ
兵庫県立三木総合防災公園 志染町三津田 ☎85-8408	陸上競技場、第2陸上競技場、野球場、球技場 グラウンド・ゴルフ場、屋内・外テニスコート

編 集 後 記

三木市体育協会は平成26年7月に設立60周年を迎えました。

本会では、記念誌としてこれまで昭和59年度30周年の「30年のあゆみ」、平成6年度40周年の「夢と感動の40年」、平成16年度50周年の「新たなるスタート」を発刊してまいりました。

今回、本会が60周年の還暦を迎えたことから、「次世代につなげようスポーツの力」と題し、加盟単位協会がこの10年間に歩んできた道をご紹介します。

高齢化社会となった現在、人々の健康づくり、心豊かな人づくり、地域活性化等に対し、スポーツは非常に大きな役割を果たしています。また、スポーツの多様化が進み、多くの方々が様々な場所で、様々な時間に、様々なスポーツを楽しんでいます。本誌がスポーツの力、素晴らしさを再認識するきっかけとなり、今後の三木市のスポーツの発展に寄与する一助となり、ひいては、2020年（平成32年）の東京オリンピック・パラリンピックの選手を輩出するようなことにでもなれば、編集に携わった者としてこの上もない喜びです。

最後になりましたが、お忙しい中、ご執筆していただいた方々、貴重な資料や写真を提供していただいた方々に厚く御礼申し上げます。

60周年記念事業実行委員会
記 念 誌 部 会 一 同

創立60周年記念誌

次世代につなげよう スポーツの力

発行年月日 平成27年3月吉日

編集・発行 三木市体育協会

事務局 〒673-0492

兵庫県三木市上の丸町10-30

三木市教育委員会文化スポーツ振興課内

TEL 0794-82-2000 FAX 0794-83-3699

印 刷 小野高速印刷株式会社

姫路市平野町62

